

ワイドスター III 可搬型端末

取扱説明書

はじめに

「ワイドスターIII 可搬型端末」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

最新の情報については、ドコモの法人向けホームページのサポートサイト (<https://support.ntt.com>) にてご確認ください。

取扱説明書について

クイックスタートガイド（本体付属品）

基本的な操作について説明しています。

取扱説明書（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

本書の最新情報は、ドコモの法人向けホームページのサポートサイトよりダウンロードできます。

- ・「オンラインマニュアル（取扱説明書）」ダウンロード

<https://support.ntt.com>

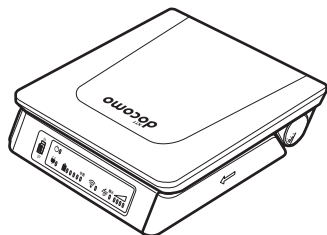
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

お知らせ

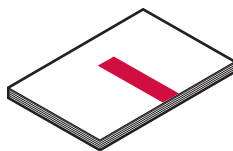
- 本書は、ワイドスターIII 可搬型端末と、ワイドスターIII ハンドセット（別売）を接続してご使用になるために必要な操作や設定について記載しています。
- 本書においては、「ワイドスターIII 可搬型端末」を「衛星端末」、「ワイドスターIII ハンドセット」を「ハンドセット」、「ワイドスターIII ハンドセット置台」を「ハンドセット置台」、「ワイドスターIII ハンドセットケーブル」を「ハンドセットケーブル」、「ワイドスターIII 電池パック」を「電池パック」、「ワイドスターIII 電池パックカバー」を「電池パックカバー」、「ワイドスターIII ACアダプタ」を「ACアダプタ」、「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ」を「屋外設置アンテナ」と表記しています。
また、「ワイドスターIII 衛星電話管理ツール」を「衛星電話管理ツール」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書は画面の色が「白」の場合で説明しています。
- 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

衛星端末（保証書付き）



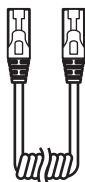
クイックスタートガイド



主な構成

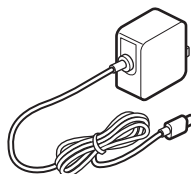
ハンドセット

（保証書付き、ハンドセットケーブル・取扱説明書含む）

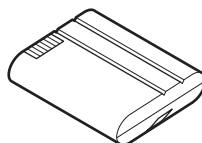


ACアダプタ

（保証書付き、取扱説明書含む）



電池パック（取扱説明書含む）



- その他のオプション品について→P.101

目次

本体付属品	1
主な構成品	1
目次	2
衛星端末のご利用について	3
安全上のご注意（必ずお守りください）	4
取り扱い上のご注意	11

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	15
ステータスバーについて	19
待受画面の見かた	19
nanoSIMカード	20
電池バック	23
充電	25
ご使用前の準備	27
電源を入れる／切る	32
初期設定	33
暗証番号・パスワードについて	34
基本操作	35
自分の電話番号を確認する	36
文字入力について	37

電話

電話をかける	39
電話を受ける	43
通話中の操作	43
着信履歴／発信履歴	44
留守番電話サービスを利用する	45
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする	45
エコーを抑える	45
電話帳	46

SMS

SMSを作成して送信する	49
SMSを受信したときは	50
SMSを表示する	51
SMSのメニュー	51
SMSに返信する	52
未送信のSMSを送信する／再送する	52
SMSを削除する	52
SMSの各機能を利用する	52

設定

設定メニュー	54
ダイヤルロック設定	55
SIMロック	55
日付時刻設定	56
LED設定	56
画面表示設定	56
キーパッド設定	57
音設定	57
ネットワークサービス	58
リセット	62
GPS設定	63
デバイスログ送信	63
PINコード設定	63

通話時間・通信量	64
本体認証コード変更	64
サービス制限	64
PINコード変更	65
アナログ電話機設定	65

他の機器と接続する

電話機・FAXと衛星端末を接続する	66
スマートフォンなどの機器と衛星端末を無線LAN（Wi-Fi）で接続する	67
パソコンと衛星端末を有線LANで接続する	68

データ通信を利用する

衛星端末から利用できるデータ通信について	70
APNに接続する／APNから切断する	72

衛星電話管理ツール

衛星電話管理ツールにログインする	73
衛星電話管理ツール画面の見かた	74
セットアップ	75
サービス	85
ツール	87
ステータス	88
システム	90

「ワイドスターIII」アプリのご案内

「ワイドスターIII」アプリについて	92
--------------------------	----

付録

ハンドセットから確認／設定できる衛星端末のメニュー一覧	93
衛星電話管理ツールのカテゴリタブ／メニュー一覧	94
エラーコード一覧	98
オプション・関連機器のご紹介	101
故障かな？と思ったら	102
こんな表示が出たら	106
保証とアフターサービス	107
ソフトウェア更新	108
主な仕様	111
輸出管理規制	112
知的財産権について	112

索引

索引	113
----------	-----

衛星端末のご利用について

- 衛星端末は、ドコモの提供するワイドスターIIIのネットワークおよびサービスエリアに対応しています。
 - 衛星端末は衛星の電波を受信しますので、衛星を見通せない場所（建物や街路樹のかげ、トンネルなど）ではご利用になれません。また、衛星を見通せる場所に移動した後も通話や通信ができないこともありますので、ご了承ください。
 - 移動せずに使用している場合でも通話や通信が切れることがありますので、ご了承ください。
 - 使用環境によっては、通話や通信が不安定な場合があります。また、通信中に衛星端末の電源を切ると通信中の情報が消失する場合があります。
 - 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
 - 衛星端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースがないともいえません。しかし、本機では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
 - 衛星端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
 - 衛星端末は日本国外ではご利用になれません。
 - アンテナ前面から電波が放射されます。通信中はアンテナ前面方向から1m以上離れてください。
 - お客様ご自身で衛星端末およびハンドセットに登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。衛星端末およびハンドセットの故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - データ通信料は、送受信したデータ量に応じて課金されます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。
 - パソコンやスマートフォンを衛星端末に接続してデータ通信を利用される場合、接続した機器のバックグラウンド通信等により送受信するデータ量が大きくなる可能性がありますので、ご注意ください。
 - 紛失に備え本体認証コードやハンドセットPINなどを設定し、衛星端末、ハンドセットのセキュリティを確保してください。→P.34
また、セキュリティ確保のため、本体認証コードなどはお買い上げ時からの変更をおすすめします。
- サービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
 - mopera UI以外のプロバイダはサポートしておりません。
 - ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
 - ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
 - 改造された衛星端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
衛星端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク㊤」が衛星端末の銘板シールに表示されています。
衛星端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
 - 旧サービスにて使用されていた「ワイドスターII 衛星屋外設置アンテナ 01」は、ワイドスターIIIサービスでは正常な通信を保証いたしかねます。ワイドスターIIIサービスをご利用になる場合は、「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ」をご使用ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）」を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の9項目に分けて説明しています。

- 衛星端末、ハンドセット、電池パック、ACアダプタ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）→P.4
- 衛星端末の取り扱いについて→P.6
- ハンドセットの取り扱いについて→P.7
- 電池パックの取り扱いについて→P.8
- ACアダプタの取り扱いについて→P.9
- nanoSIMカードの取り扱いについて→P.9
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて→P.10
- 屋外設置アンテナの取り扱いについて→P.10
- 材質一覧→P.10

衛星端末、ハンドセット、電池パック、ACアダプタ、nanoSIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

衛星端末に強い圧力を加えたり、破損させたりしないでください。
電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。また分解、改造は保証の対象外となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

電源端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電源端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分が隙間、電源端子、外部接続端子、マイク、スピーカ部に入らないようにしてください。
衛星端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に衛星端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 衛星端末の電源を切る。
- 電池パックを衛星端末から取り外す。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

衛星端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。

通話、データ通信など、長時間の使用や充電中は、衛星端末や電池パック・ACアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

衛星端末の取り扱いについて

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

衛星端末内部の物質が目や口などに入っただけの場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

衛星端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

衛星端末内のnanoSIMカードの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなど、異物が入らないようご注意ください。

また、nanoSIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

nanoSIMカードの故障や破損、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

アンテナ前面に近づかないでください。アンテナ前面から電波が放射されますので、通信中はアンテナ前面から1m以上離れてください。



禁止

雷が鳴り出したら、衛星端末には触れないでください。

感電などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、衛星端末の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、衛星端末の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、衛星端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠注意



禁止

衛星端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性がある静電気が発生する場所で使用しないでください。

保護機構が破壊され、発火、破裂、発熱の原因となります。



禁止

アンテナ面を下にして置かないでください。

衛星端末が破損する恐れがあります。



指示

衛星端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質については以下をご参照ください。

→P.10「材質一覧」



指示

衛星端末のアンテナを開閉する際は、指などの身体の一部を挟まないようご注意ください。

すき間に挟まれると、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを取り付ける際は、指などを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。



指示

使用中は衛星端末前面や背面を触らないでください。

熱くなりますので、使用直後は素手で触らないようにしてください。やけどの原因となります。



指示

屋外設置アンテナ端子を取り外す際は、金具にご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

ハンドセットの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、ハンドセットの電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。



指示

着信音が鳴っているときなどは、必ずハンドセットを耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをハンドセットに装着して使用する場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、ハンドセットの電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください。以下の電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出したハンドセットの内部にご注意ください。

ディスプレイ部のガラスは飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意



禁止

ハンドセットケーブルなどを持ってハンドセットを振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につかないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



禁止

ハンドセットが破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



指示

ハンドセットを長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

長時間使用するとハンドセットの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

電池パックの取り扱いについて

- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 20	リチウムイオン電池

⚠危険



禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを衛星端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けしないでください。また、電池パックを衛星端末からうまく取り外せない場合は、無理に取り外さないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。電池パックの取り付けかた／取り外しかたについては以下をご参照ください。

→P.23「電池パックの取り付け／取り外し」



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックの端子を直接コンセントや自動車のシガーライターソケットに接触させないでください。

感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

電池パックを衛星端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

電池パックの取り付けかたについては以下をご参照ください。

→P.23「電池パックの取り付け／取り外し」



指示

電池パック内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パック内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意



禁止

電池パック内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のごみと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。

また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、接続端子にテープなどを貼り、絶縁してから法人営業担当者にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性がある静電気が発生する場所で使用しないでください。

保護機構が破壊され、発火、破裂、発熱の原因となります。



指示

落雷の危険がある場合、衛星端末から電池パックを取り外してください。

発火、破裂、発熱の原因となります。

ACアダプタの取り扱いについて

⚠ 警告



ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。



雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で電源端子をショートさせないでください。また、電源端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトランスコンバーターなど）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



衛星端末にACアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタ、コンセントに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプタのプラグを持って抜いてください。

ACアダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

衛星端末にACアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

電源端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。電源端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から衛星端末を1.3m以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性がありますので、衛星端末の電源を切ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における衛星端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

屋外設置アンテナの取り扱いについて

⚠警告



アンテナ前面に近づかないでください。
アンテナ前面から電波が放射されますので、通信中はアンテナ前面から1m以上離れてください。



雷が鳴り出したら、屋外設置アンテナには触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



落雷の危険がある場合、同軸ケーブルを取り付けたり取り外したりしないでください。
感電などの原因となります。



落雷の可能性のある場所に屋外設置アンテナを設置する場合は、十分な避雷対策を行ってください。
避雷対策を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



風の強い日は、組立作業や方向調整作業は行わないでください。
屋外設置アンテナが落下して、けがや故障の原因となります。



屋外設置アンテナは、指定のポールおよび高さに従い、取り付けてください。
ポールの破損または屋外設置アンテナが落下して、けがや故障の原因となります。



屋外設置アンテナの組立作業を行う際は、屋外設置アンテナの下に人がいないことを確認し、滑り止めバンドをポールに取り付けてください。
屋外設置アンテナが落下して、けがなどの原因となります。



屋外設置アンテナの方向調整を行う際は、滑り止めバンドが確実に取り付けられていることを確認してから行ってください。
屋外設置アンテナが落下してけがや故障の原因となります。

材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
アンテナ面（上面、側面）、本体側面、電池バックカバー	ポリカーボネート樹脂	なし
アンテナ面（底面）、アンテナ角度インジケーター	アルミニウム	陽極酸化処理
本体正面、底面	マグネシウム合金	粉体塗装
電源スイッチ	アセタールコポリマー樹脂	クローム蒸着
LEDパネル	ガラス	なし
外部アンテナ接続端子カバー、LAN端子カバー、ハンドセット接続端子カバー、電話機／FAX接続端子カバー、アンテナ面クッション、底面クッション	TPU	なし
ネジ	ステンレス	黒染処理

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）をかけないでください。
衛星端末、電池パック、ACアダプタ、nanoSIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所での使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」（→P.107）をご確認ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- 機器に腐食性の化学薬品がかからないようにしてください。
腐食性の化学薬品は、表面を傷つけたり、機器の誤動作の原因となります。
- 機器の表面を傷つける可能性があるため、清掃の際は刺激の強い洗剤や化学薬品を使用しないでください。
- 機器を塗装しないでください。
故障の原因となります。また塗装した場合、保証の対象外となります。
- 機器のラベルやマーキングを取り外さないでください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 衛星端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたりすると内部基板、電池パックなどの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。

- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因になります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 通気を十分確保できる場所でご利用ください。
通気を確保できない場合、機器の発する熱で高温となり故障の原因となります。
- 狭い場所でのご利用は避けてください。
衛星端末の周囲（底面以外）に5cm以上の空間を開けてご利用ください。
- ワイドスターIII 衛星電話の利用にあたっては、電波法56条に基づき保護された電波天文業務に影響を与えないよう注意する必要があります。
電波天文台の近くでは、電波天文台の方向に向けてアンテナを設置しない、敷地内では電源を切るなど、電波天文観測への影響を回避するよう十分にご注意ください。
対象となる電波天文業務関連施設の場所については、国立天文台・総務省のWebページなどから最新情報をご確認ください。
電波天文業務関連施設（国立天文台）
<https://prc.nao.ac.jp/freqras/ant.html>
- ガラス越しで使用しないでください。
ワイドスターIIIサービスを利用する際は、可能な限り屋外でご利用ください。
地表から約36,000km離れた静止衛星を経由し通信しており、携帯電話等と異なり、非常に微弱な電波で通信をしています。
ガラス越しにアンテナや可搬型端末を設置すると、電波が減衰し安定した通信ができない場合があります。
減衰量はガラスの種類や厚さ、また使用されるコーティングによって異なります。
また、特殊なフィルムや反射コーティングが施されたガラスでは、より大きく減衰し室内でご利用が困難になる場合がございます。
- Wi-Fiや電子レンジなどの電波が発生している機器の近くで使用しないでください。
ワイドスターIIIサービスは衛星と端末間の通信に2.4GHz帯の周波数領域を利用しているため、Wi-Fiや電子レンジ、携帯電話基地局など2.4GHz帯の周波数領域を利用している機器のご使用はお控えください。ワイドスターのアンテナ周辺部で関連の周波数領域を利用する機器が作動すると通信が不安定になる場合があります。
上記による通信の不安定と想定される状況が発生した場合、以下の対応を確認してください。
以下の対応で事象の改善が見られない場合、弊社問い合わせ先へご連絡をお願いします。
 - 衛星端末周辺にある機器の停止（スマートフォンのWi-Fiも含む）
 - 他の衛星端末での同事象発生の確認
 - 別の場所に移動してのご利用

衛星端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は-20℃～60℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で衛星端末に登録されたデータは、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- ACアダプタのケーブルなどを挟んだまま、アンテナ部を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。
- アンテナ面を開いた状態で、アンテナ面を持って持ち上げないでください。
衛星端末が破損する恐れがあります。
- アンテナ面を下に置かないでください。
衛星端末が破損する恐れがあります。
- アンテナ面を目的の高さに調整するときに、過度の力をかけないでください。
- ハンドセットの電源がオフになるまで、ハンドセットを衛星端末から取り外さないでください。
ハンドセットの使用中に衛星端末から取り外すと、データの消失や故障の原因となります。
- 使用中や充電中に衛星端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 通常は使用しない外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを衛星端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると衛星端末の誤動作の原因となります。
- 衛星端末の冷却フィンのお手入れの際は、きれいな圧縮空気を使用してクリーニングしてください。

- 衛星端末から電池パックなどを取り付け／取り外しするときは、必ず、電源が切れているか確認してください。
電源を入れたまま取り付け／取り外しすると故障の原因となります。
- 衛星端末の上に重いものをのせないでください。
故障の原因となります。
- 衛星端末の電源を入れたままnanoSIMカードを取り外さないでください。
- 電池パックを取り付けるときは、落下しないようにしっかりと取り付けてください。
- アンテナ面を開閉するときは、無理に開いたり、閉じたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 衛星端末の端子カバーを、無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 端子にケーブルを取り付ける、または端子からケーブルを取り外す際は、衛星端末の電源を切り、必要以上に力を入れないでください。
故障、破損の原因となります。
- 無線LAN、レーダ、無線機、電子レンジなど電波を放射する機器の近くで衛星端末を使用すると、衛星端末の通信に影響を受ける場合があります。なるべく離れた場所ですぐ衛星端末をご使用ください。

ハンドセットについてのお願い

- ハンドセットはJIS保護等級4級の生活防水性能を有しておりますが、ハンドセット内部に浸水させたり、対応の各オプション品・関連機器に水をかけたりしないでください。
調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- ハンドセットに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器をイヤホンマイク端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は-20℃～60℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様が自身でハンドセットに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハンドセットを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- イヤホンマイク端子にイヤホンマイクなどを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、ハンドセットは温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 通常はイヤホンマイク端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子カバーを、無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- ハンドセットの電源を入れたまま、ハンドセットを衛星端末に取り付けたり、取り外したりしないでください。
データの消失の原因となります。
- ハンドセットやハンドセットのケーブルを強く引っ張らないでください。
コネクタがハンドセット端子から抜けたり、断線の原因となったりします。
- イヤホンマイク端子カバーを外した状態やイヤホンマイクなどを接続した状態での使用は、生活防水となりません。
- 水や海水の中に入れたり、シャワーなどを直接かけたりしないでください。
水が入り故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックの使用および充電は、適正な周囲温度の場所で行ってください。
使用：-20℃～60℃
充電：0℃～45℃
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品のため、保証対象外です。
電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや電池パックが膨らんでいるときは電池パックの交換時期です。電池パックの交換につきましては、「保証とアフターサービス」(→P.107)をご確認ください。

- 電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）で保管しないでください。
 - 電池残量なしの状態（衛星端末の電源が入らない程消費している状態）で1カ月以上保管しないでください。
 なお、保管に適した電池残量の目安は70パーセント程度（各機器のバッテリー残量表示は、衛星端末バッテリーランプ：2～3つ／ハンドセット電池レベル：2～3つ／電池バックバッテリーランプ：3つです）で、最大保管可能な期間は1年です。
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となり、ご使用できなくなる場合があります。長期間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されないことがあります。
電池パックは長期間使用しない場合でも、6カ月に1度は電池残量表示のランプ（衛星端末バッテリーランプ：2～3つ以上、電池バックバッテリーランプ：3つ以上）が点灯していることを確認してください。ランプの点灯が不足している場合は、電池残量表示のランプが上記の状態になるまで充電してください。
- 長時間使用しない場合は、衛星端末から外して、乾燥した冷暗所（ただし冷蔵庫などの冷却能力のある空間は除く）に保管してください。
性能や寿命を低下させたり漏液やさびの原因になったりすることがあります。衛星端末から外し、乾燥した冷暗所（ただし冷蔵庫などの冷却能力のある空間は除く）に保管してください。
- 過放電状態（完全に放電しきった状態）の場合は、充電しないでください。

ACアダプタについてのごお願い

- 使用は、適正な周囲温度（0℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く
- 充電中にACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、コネクタを変形させないでください。
故障の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い

- 衛星端末で使用するnanoSIMカードは専用の契約が必要です。
- 衛星端末の契約をしているnanoSIMカードは、LTE／5G端末ではご使用になれません。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったnanoSIMカードは法人営業担当者にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、衛星端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行う為、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意のある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 5GHz機器使用上の注意事項

使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- W56（5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

● DFS機能について

衛星端末に搭載されている無線LAN機能（Wi-Fi）は周囲の気象レーダー等との電波干渉を避ける機能を備えています。（DFS機能）
本機能により、衛星端末を起動後もしくは無線LAN機能（Wi-Fi）をご利用中に電波干渉を検知した際に約1分間、Wi-Fiの電波を停止し電波干渉が無いかを確認いたします。この間はWi-Fi通信はできず、ご利用機器ではSSIDを表示・選択することができません。

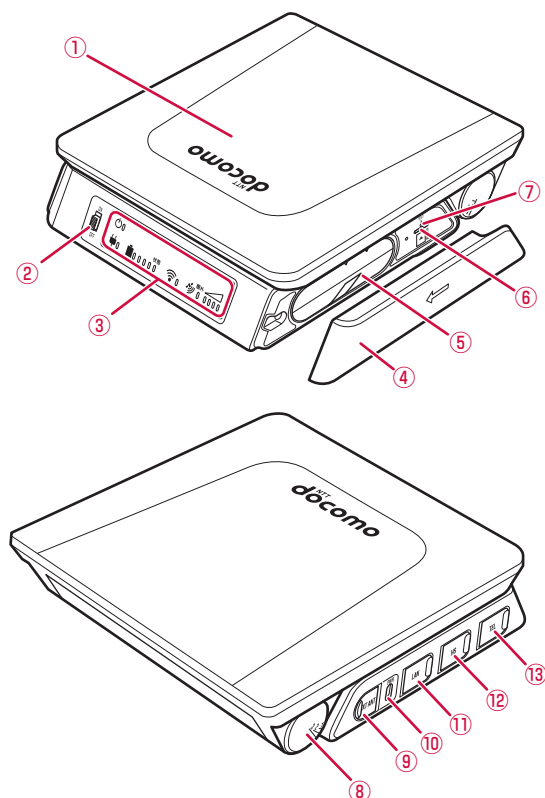
注意

- 改造された衛星端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
衛星端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク®」が衛星端末の銘板シールに表示されております。
衛星端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- 無線LAN（WLAN）機能は日本国内で利用してください。
本機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

衛星端末

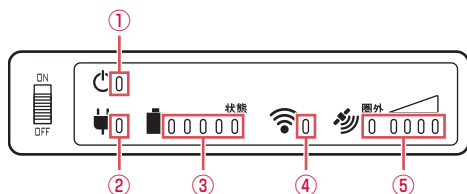


各部の機能

- ① アンテナ面
 - 電波を受ける／送るためのアンテナを内蔵 →P.27
- ② 電源スイッチ
 - 電源を入れる／切る →P.32
- ③ LEDパネル
 - 衛星端末の状態を表示 →P.15
- ④ 電池バックカバー
- ⑤ 電池パック
- ⑥ nanoSIMカードスロット
 - nanoSIMカードを取り付け →P.20
- ⑦ RESETボタン
 - 衛星端末を初期化（リセット）する →P.62
- ⑧ アンテナ角度インジケーター
 - アンテナ面の角度を表示 →P.27
- ⑨ 外部アンテナ接続端子（SMB型ジャック）
 - 屋外設置アンテナを接続 →P.30
- ⑩ 電源端子（USB Type-C）
 - ACアダプタを接続 →P.26
- ⑪ LAN端子（RJ-45）
 - パソコンなどデータ通信を行う機器を接続 →P.68
- ⑫ ハンドセット接続端子（RJ-45）
 - ハンドセットを接続 →P.28
- ⑬ 電話機／FAX接続端子（RJ-11）
 - 電話機やFAXを接続 →P.66

LEDパネルの見かた

衛星端末のLEDパネルで現在の状態を確認できます。



① 衛星端末電源ランプ

- 点灯（青）、他ランプ点灯：衛星端末の電源オン
- 点灯（青）、他ランプ消灯：省電力モード →P.17
- 点滅（青）：衛星端末が起動中
- 消灯：衛星端末の電源オフ
- 点滅（赤）：衛星端末にエラーが発生。詳しくは、衛星電話管理ツールの「ステータス」タブから「障害情報」（→P.89）を確認してください。

② 外部電源ランプ

- 点灯（青）：外部電源接続中
- 消灯：外部電源未接続

③ バッテリーランプ

- 電池パックの状態を確認できます。
- LEDが点滅する箇所で充電の進捗状況がわかります。

ランプ	電池残量
 状態	電池残量が81-100%
 状態	電池残量が61-80%
 状態	電池残量が41-60%
 状態	電池残量が21-40%
 状態	電池残量が0-20%
 状態ランプが点灯（青）	電池パックを充電中
 状態ランプが点灯（赤）	電池パックに異常が発生
 状態ランプが点滅（赤）	電池パックに一時的な異常が発生

※衛星端末が電源オフの状態では充電している場合はバッテリーランプは点灯しませんが、電池パックの充電は行われています。

※衛星端末の電源をオフにすると、充電が停止する場合があります。電源オフの状態では充電する場合は、衛星端末の電源をオフにした後に一度ACアダプタを取り外し、再度接続してください。

※電池パックのバッテリーランプで電池残量を確認することもできます。詳しくは「電池残量の確認のしかた」（→P.24）をご覧ください。

※充電中に電池パックの温度が上昇すると、安全のために電池パックの充電が停止します。→P.100

④ 無線LAN（Wi-Fi）ランプ

- 点灯（青）：無線LAN（Wi-Fi）がオン
- 点滅（青）：無線LAN（Wi-Fi）で通信中
- 消灯：無線LAN（Wi-Fi）がオフ

⑤ 圏外／レベルランプ

- 電波の受信レベルの目安が確認できます。

受信レベル	状態
 圏外	受信レベルが十分
 圏外	受信レベルが良好
 圏外	受信レベルが中程度
 圏外	受信レベルが低い
 圏外	受信レベルが低く一時的に通信不可
 圏外	サービスエリア外または電波の届かない場所※1
 圏外	ネットワークに接続中※2

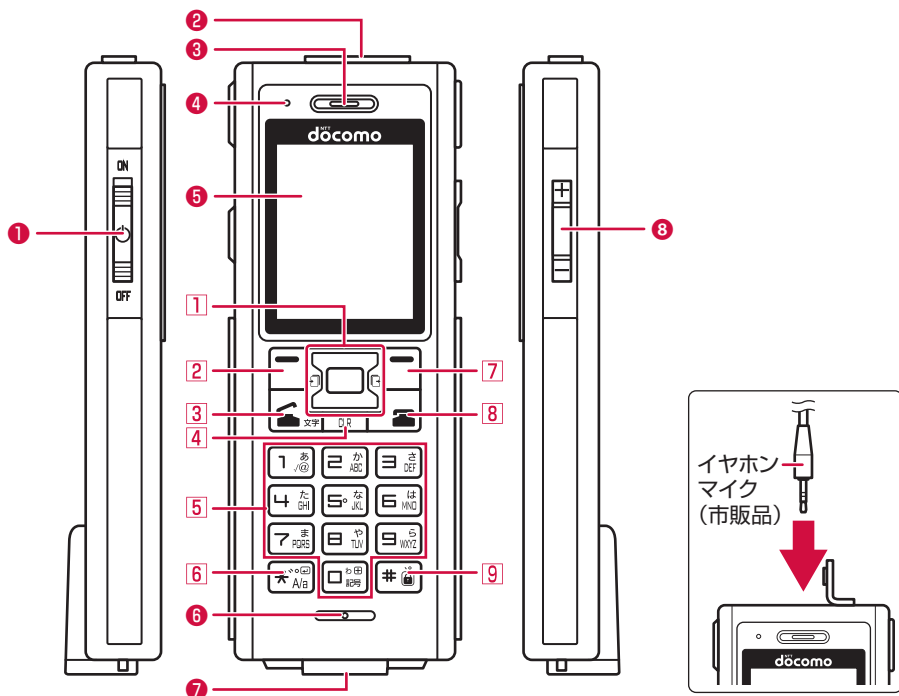
※1 受信状態により、ハンドセットのステータスバー表示と異なる場合があります。

※2 ネットワークに接続中の場合、サービスエリアによってレベルランプの本数は異なります。

お知らせ

- ACアダプタを接続せずに、電池パックを取り付けて衛星端末を利用している場合、電池の持ちを長くするため衛星端末電源ランプのみ点灯し、他のランプが消灯することがあります（省電力モード）。この状態から、データ通信を利用する場合は、下記操作の何れかを実施し、衛星端末電源ランプ以外のランプ点灯後、ご使用ください。
 - ACアダプタによる給電
 - ハンドセットのキー操作
 - アナログ電話機を接続し、オンフック操作またはオフフック操作
- 衛星端末の状態によって、すべてのランプが一時的に消灯することがあります。
- 衛星端末電源ランプが消灯したまま、衛星端末が正常に起動しない場合は、ACアダプタやハンドセットなどの接続状態をご確認の上、電源を入れ直してください。
- 衛星端末の電源が入っていない場合は、電池パックが充電中であっても②外部電源ランプ以外のLEDは消灯状態となります。
- 衛星端末本体の起動後、以下の状態が5分以上継続する場合は、ネットワーク接続に問題が発生している可能性があります。そのため、衛星端末本体の再起動とアンテナの向き調整を実施してください。
 - 圏外ランプとレベルランプが同時に点灯する場合
 - レベルランプが不安定な場合

ハンドセット



各部の機能

- | | |
|--|--|
| <p>① 電源スイッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源を入れる／切る →P.32 <p>② イヤホンマイク端子</p> <ul style="list-style-type: none"> イヤホンマイク（市販品）を接続 <p>③ 受話口</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の声をここから聞く <p>④ LEDランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> 起動時や電話／SMSの着信時などに点灯または点滅 →P.18 | <p>⑤ ディスプレイ</p> <p>⑥ 送話口</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の声をここから送る ※通話中にふさがないでください。 <p>⑦ ハンドセットケーブル端子</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンドセットケーブルを接続 →P.28 <p>⑧ 音量上／下キー</p> <ul style="list-style-type: none"> 着信音量や通話音量を調節 |
|--|--|

キーの機能

- ① 方向キー
 - 決定キー
 - 操作の実行
 - 待受画面でメニュー表示 →P.36
 - 上キー
 - 上方向へのカーソル移動
 - 下キー
 - 下方向へのカーソル移動
 - 左キー
 - 着信履歴の表示
 - 画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
 - 右キー
 - 発信履歴の表示
 - 画面の切り替え、右方向へのカーソル移動
- ② 左ソフトキー
 - メニューの表示
 - 項目の決定
- ③ 電話開始／文字入力モード切り替えキー
 - 電話をかける／受ける
 - 文字入力モードの切り替え

- ④ CLRキー
 - 文字の消去や1つ前の画面に戻る
- ⑤ ダイヤルキー
 - 文字の入力
 - メニューの項目選択
- ⑥ *／**／A/aキー
 - 「*」や「*」「°」などの入力
 - 大文字／小文字の切り替え
- ⑦ 右ソフトキー
 - メニューの表示
 - 待受画面で緊急通報 →P.41
- ⑧ 終了キー
 - 通話／操作中の機能の終了
- ⑨ #／././ダイヤルロックキー
 - 「#」や「.」「°」の入力
 - ダイヤルロック（2秒以上長押し）

LEDランプの見かた

ハンドセットのLEDランプで現在の状態を確認できます。



- ・ハンドセット起動処理中：点灯（緑）
- ・電話着信中：点滅（緑）
- ・不在着信あり：点灯（紫）
- ・SMS受信あり：点灯（紫）
- ・ソフトウェア更新完了：点滅（緑）

ステータスバーについて

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンでさまざまな状態を確認できます。



■ 主なアイコン一覧

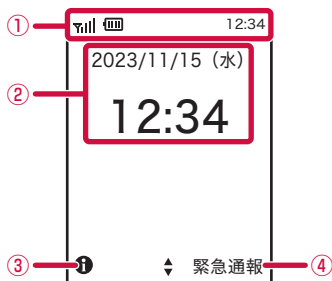
📶	受信レベル 📶 強 ⇄ 📶 弱 📶 圏外
🔋	電池レベル 🔋 81-100% 🔋 61-80% 🔋 41-60% 🔋 21-40% 🔋 1-20% 🔋 充電中 🔋 ACアダプタから給電（電池パック未装着）
🔇	着信音量消去設定中
🔒	ダイヤルロック設定中
📞	電話帳を非表示に設定中
📞	不在着信あり
📞	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
✉️	未読SMSあり
📍	GPS位置情報利用可能
あ	かな入力モード
か	カタカナ入力モード
12	数字入力モード
AB	英字入力モード

お知らせ

- 表示中の機能によっては、アイコンの表示が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。

待受画面の見かた

待受画面に表示されるアイコンで、現在の状態（ステータス）や新着の情報などを確認したり、自分の電話番号の確認や緊急通報などの操作ができます。



- ① ステータスバー
 - ステータスアイコンで現在の状況を確認できます。
- ② 日付・時刻
- ③ 情報
 - 自分の電話番号やGPS位置座標などの情報を確認できます。
- ④ 緊急通報
 - 緊急通報ができます。

nanoSIMカード

nanoSIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 衛星端末では、ワイドスターIIIサービスを契約されたドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードはご利用になれません。
- nanoSIMカードが衛星端末に取り付けられていないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- nanoSIMカードにはPINコードという暗証番号が設定されています。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

nanoSIMカードの取り付け／取り外し

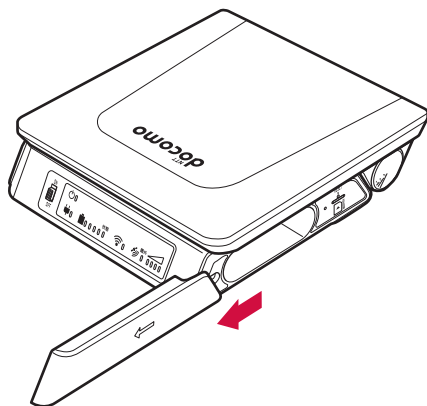
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、衛星端末を安定した場所に置いて行ってください。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、衛星端末の電源を切り、ACアダプタを抜いて、電池パックを外してから行ってください。

お知らせ

- nanoSIMカードを取り付け／取り外しする際には、IC（金属）部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。
- 無理に取り付け、取り外しするとnanoSIMカードが破損する場合がありますので、ご注意ください。
- 電池パックカバーを取り付けたり、取り外したりする場合は、水分や泥、埃がない環境であることを確認してから実施してください。

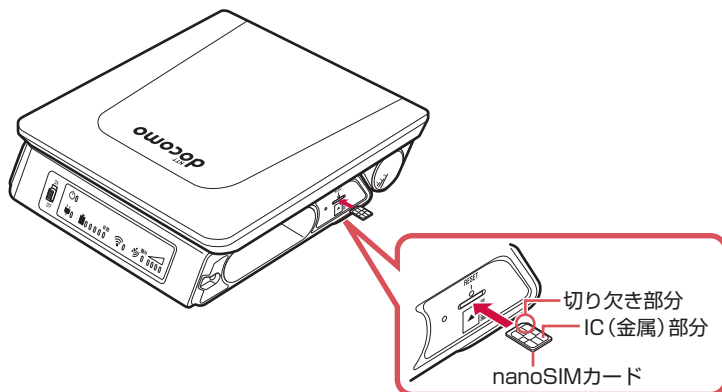
取り付けかた

電池パックカバーを矢印の方向にスライドして取り外す



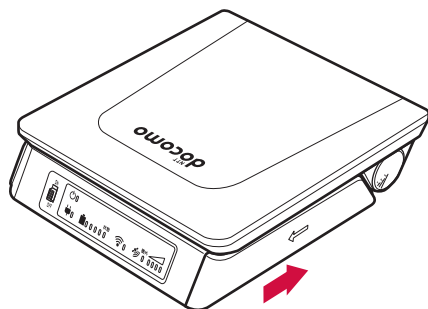
2 nanoSIMカードのIC(金属)部分を上にして、切り欠きの向きを合わせてnanoSIMカードスロットに差し込む

- nanoSIMカードを水平に差し込んでください。
- 「カチッ」と音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。



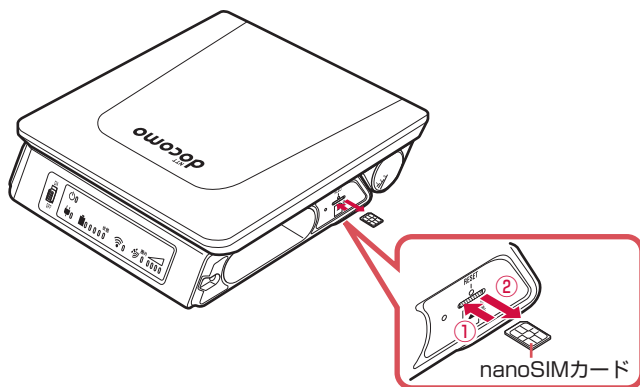
3 電池パックカバーを矢印の方向にスライドして取り付ける

- 電池パックカバーはしっかりと奥までスライドしてください。



取り外しかた

- 1 電池パックカバーをスライドして取り外す
- 2 nanoSIMカードを軽く押したあと(①)、まっすぐに引き出す(②)



3 電池パックカバーをスライドして取り付ける

- 電池パックカバーはしっかりと奥までスライドしてください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

電池パック

電池パックの取り付け／取り外し

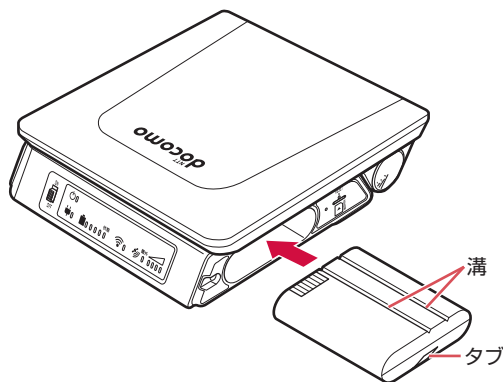
- 電池パックは、衛星端末専用の「ワイドスターIII 電池パック」をご利用ください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、衛星端末を安定した場所に置いて行ってください。
- 電池パックの取り付け／取り外しは、衛星端末の電源を切ってから行ってください。またACアダプタ（別売）は取り外してください。
- 無理に取り付け、取り外しすると電池パックや衛星端末の破損や故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 電池パックを取り外すときは、操作する手や電池パック本体、電池パックカバーに水分や泥、埃が付着していないことを確認してから実施してください。
- 電池パックの残量が著しく少ない状態で、衛星電話端末を保管しないでください。電池パックの性能が低下し、衛星端末の電源が入らないなどの故障の原因となる場合があります。
- 電池パックを取り付けずに、ACアダプタを使用して衛星端末を利用することもできます。

取り付けかた

1 電池パックカバーをスライドして取り外す

2 電池パックの溝のある面を上にして、タブを手前にして差し込む

- 電池パックはしっかりと奥まで差し込んでください。



3 電池パックカバーをスライドして取り付ける

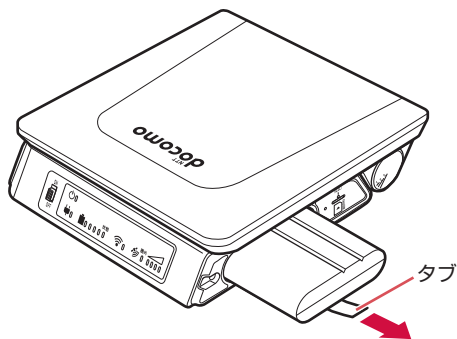
- 電池パックカバーはしっかりと奥までスライドしてください。
- 電池パックのタブをはさまないようにご注意ください。

お知らせ

- 電池パックをお買い上げ後に初めてご利用いただく際は、衛星端末へ取り付け後に必ず充電してご利用ください。お買い上げ後に充電したことがない電池パックでは、衛星端末を起動できませんのでご注意ください。→P.25

取り外しかた

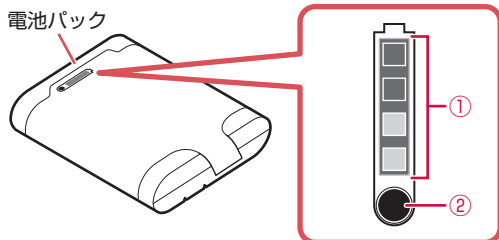
- 1 電池パックカバーをスライドして取り外す
- 2 電池パックのタブを持って、ゆっくりと引き出す



- 3 電池パックカバーをスライドして取り付ける

- 電池パックカバーはしっかりと奥までスライドしてください。

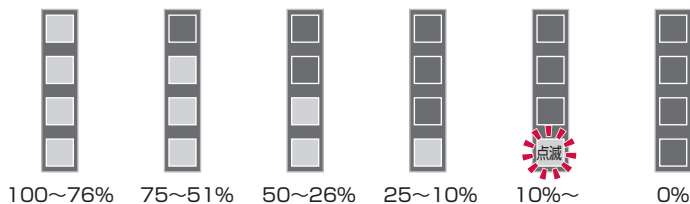
電池残量の確認のしかた



- ① バッテリーランプ

- ② バッテリー残量確認ボタン

- ボタンを押すことで電池パックのバッテリー残量を確認できます。
- 残量表示は以下の通りとなります。



※電池パック単独での電池残量の見かたは上記のとおりです。

衛星端末に電池パックを装着した状態での電池残量の見かたは、「LEDパネルの見かた」の「③バッテリーランプ」(→P.16)をご覧ください。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のワイドスターIII ACアダプタ（別売）で充電してからお使いください。

- 電池パックは、お買い上げ後初めて充電されるまで工場出荷状態となっており、衛星端末を起動できませんのでご注意ください。
- 電池パックは、必ずワイドスターIII 電池パックをご利用ください。

充電時のご注意

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電をくり返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 満充電後、電池残量が低下すると自動的に再充電します。

充電時間の目安について

衛星端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

充電時間	約150分
------	-------

- バッテリーランプの「状態」が赤色で点滅している場合は、電池パックに異常が発生しています。

電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電をくり返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいています。また、バッテリーランプの「状態」が赤色で点灯している場合は、電池パックに異常が発生していますので、すぐに電源をオフにして、使用をお控えください。



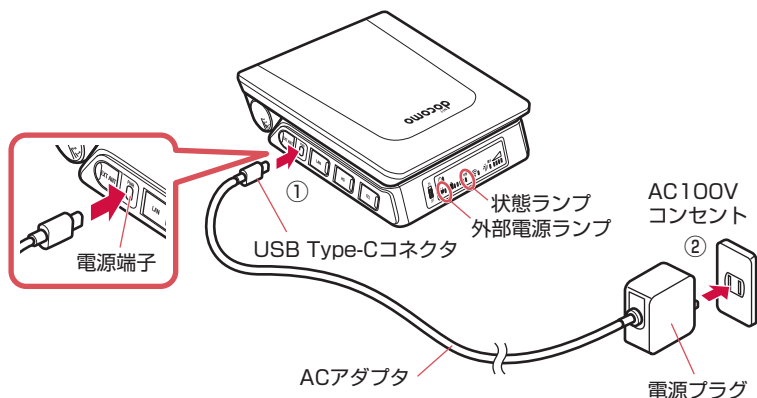
Li-ion 20

ACアダプタを使って充電する

ワイドスターIII ACアダプタ（別売）はAC100Vに対応しています。

必ずACアダプタの取扱説明書をご覧ください。

- ACアダプタは、しっかり差し込んで使用してください。緩みがあると接触が悪くなり、正常に使用できなくなる場合があります。
- 充電時は、衛星端末の周りに物などを置かないでください。衛星端末に傷を付けるおそれがあります。



1 ACアダプタのUSB Type-Cコネクタを電源端子へ差し込む(①)

- 衛星端末に水平になるようにして、USB Type-Cコネクタを「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 無理やり差し込んだり抜いたりすると、電源端子やUSB Type-Cコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

2 ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む(②)

- 衛星端末の外部電源ランプが青色に点灯することを確認してください。なお、バッテリーランプは点灯しません。→P.16

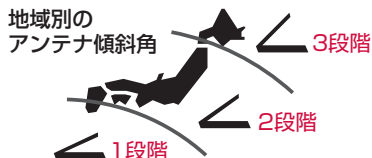
3 充電が完了したら、ACアダプタのUSB Type-Cコネクタを取り外す

- USB Type-Cコネクタを取り外すときは、水平に抜いてください。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご使用前の準備

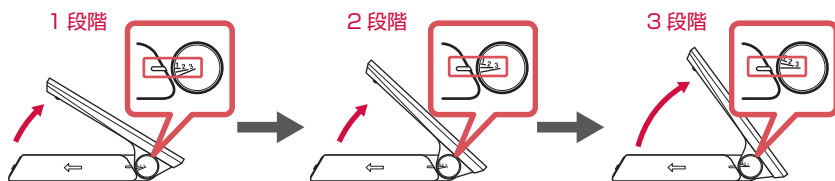
アンテナ面を衛星の方向に向ける

- 使用する地域によって、アンテナ面の角度を調整する必要があります。
- アンテナ面を調整するときは、平らなところに置いて行ってください。
- 日本の各地における適切な仰角および方位角、アンテナ面の角度については、「衛星の方向への設置について」(→P.31)をご確認ください。



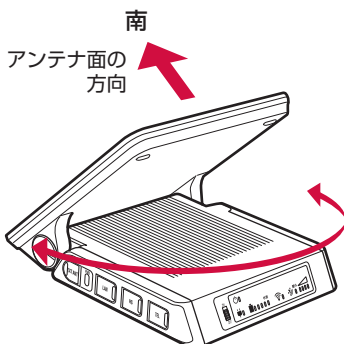
1 側面のアンテナ角度インジケータを見ながら、アンテナ面の角度を調整する

- アンテナ面は3段階に調整できます。地域別の傾斜角に合わせて調整してください。
- 「カチッ」と音がするところで止めてください。



2 アンテナ面の方向を調整する

- アンテナ面を南に向けて、圏外／レベルランプがなるべく強いレベルを示すように、アンテナの方向を調整してください。→P.16
- 圏外ランプが消灯したら衛星端末での通信を利用できます。



お知らせ

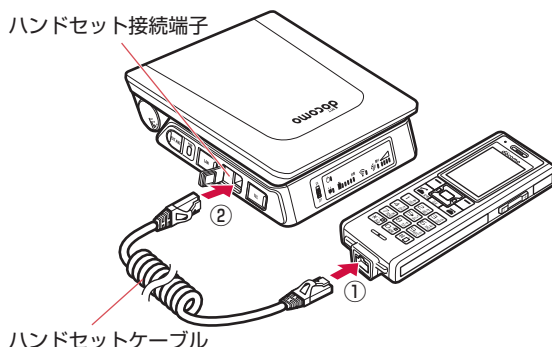
- 衛星端末は衛星の電波を受信しますので、衛星を見通せない場所（建物や街路樹のかげなど）ではご使用になれません。
- アンテナ面を持って無理に動かそうとすると破損するおそれがありますので、ご注意ください。

ハンドセットを取り付ける／取り外す

ハンドセットの取り付け／取り外しは、衛星端末とハンドセットの電源を切ってから行ってください。

- コネクタを無理やり差し込んだり抜いたりすると、各接続端子やコネクタが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

取り付けかた



1 ハンドセットの接続端子に、ハンドセットケーブルのコネクタを図の向きで水平に差し込む(①)

- コネクタの向きをよく確かめ、奥まで差し込んでください。

2 衛星端末のハンドセット接続端子カバーを開く

- ハンドセット接続端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

3 衛星端末のハンドセット接続端子に、ハンドセットケーブルのコネクタを図の向きで水平に差し込む(②)

- コネクタの向きをよく確かめ、奥まで差し込んでください。

お知らせ

- 衛星端末に接続可能なハンドセットは1台のみです。
- PoEハブ経由でのハンドセット接続は動作保証いたしません。

取り外しかた

1 衛星端末とハンドセットに接続されたハンドセットケーブルのコネクタを、ツメを押さえながら水平に抜く

2 衛星端末のハンドセット接続端子カバーを閉める

ハンドセット置台を利用する

ワイドスターIII ハンドセット置台（別売）を利用できます。

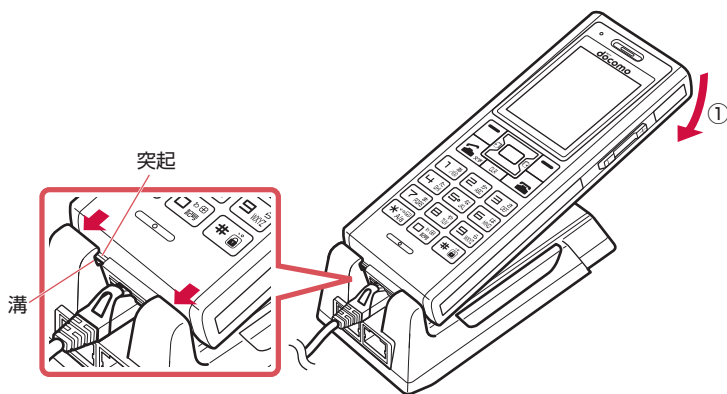
ハンドセット置台へ置く

通話中にハンドセットをハンドセット置台に置くと、通話が切れます。

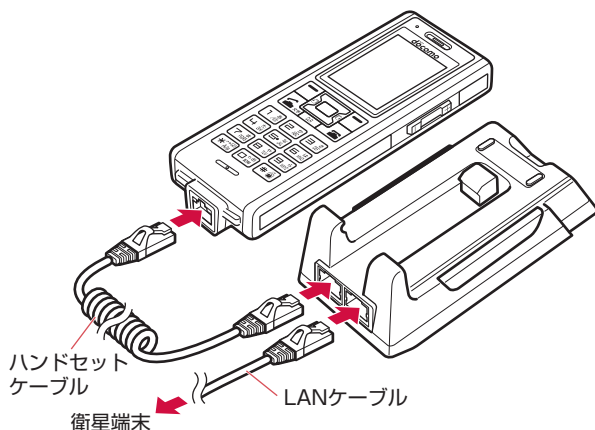
1 ハンドセットの突起をハンドセット置台の溝に合わせる

2 ハンドセットをハンドセット置台に①の方向にはめ込む

- ・「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



ハンドセット置台と衛星端末、ハンドセットとハンドセット置台を下図のように接続して、衛星端末からより離れた場所でハンドセットを使用することもできます。

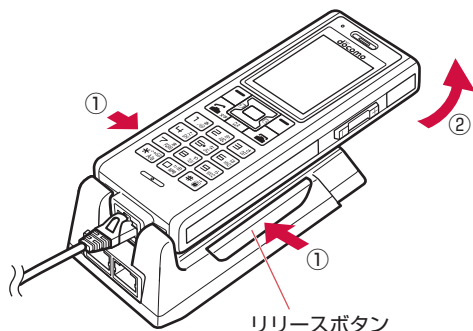


ハンドセット置台から取り外す

着信中にハンドセットをハンドセット置台から取り外すと、電話を受けることができます。

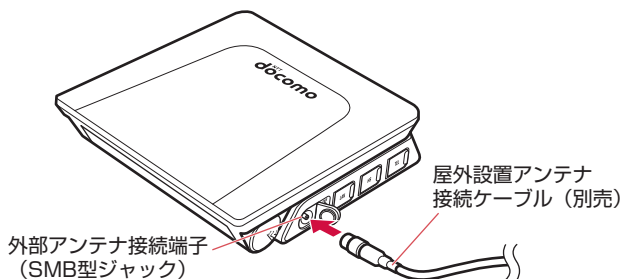
1 ハンドセット置台のリリースボタン(2箇所)を①の方向に押しながら、ハンドセットを②の方向に持ち上げる

- ハンドセット置台を垂直に立てて使用している場合は、取り外すときにハンドセットが落下しないようご注意ください。



屋外設置アンテナを取り付ける

- 衛星端末との接続は、衛星端末の電源を切ってから行ってください。
- 衛星端末との接続は、電池パックとACアダプタを取り外してから行ってください。
- アンテナケーブルの静電気を除去するため、必ず先に衛星端末に接続した後に屋外設置アンテナを接続してください。
- 屋外設置アンテナの設置方法については、「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ 設置工法書」をご覧ください。



1 衛星端末の外部アンテナ接続端子カバーを開く

- 外部アンテナ接続端子カバーは、無理に引っ張らないでください。破損することがあります。

2 外部アンテナ接続端子に屋外設置アンテナ接続ケーブル(別売)を水平に接続する

- 無理やり接続したり抜いたりすると、外部アンテナ接続端子が破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

衛星の方向への設置について

ワイドスターIIIサービスは通信衛星を経由した通信サービスとなります。

衛星との最適な通信環境を構築するには、使用される場所（緯度、経度）に応じて、適切な仰角および方位角にアンテナを設置する必要があります。

屋外設置アンテナの方向を調整する場合は、以下の表の「仰角」「方位角」をご確認ください。

衛星端末のアンテナ面の方向を調整する場合は、以下の表の「方位角」「アンテナ角度」をご確認ください。

都市名	仰角	方位角	アンテナ 角度	都市名	仰角	方位角	アンテナ 角度	都市名	仰角	方位角	アンテナ 角度
稚内	37.4	187.9	3	千葉	48.4	187.0	2	鳥取	48.7	176.9	2
北見	38.8	191.3	3	さいたま	48.2	186.2	2	米子	48.7	175.4	2
釧路	39.6	192.2	3	東京	48.4	186.3	2	松江	48.7	174.9	2
旭川	39.1	189.2	3	横浜	48.6	186.2	2	岡山	49.6	176.3	2
帯広	39.9	190.5	3	新潟	45.9	184.9	2	福山	49.8	175.3	2
岩見沢	39.8	188.4	3	長野	47.4	183.7	2	広島	49.8	173.7	2
札幌	40.0	187.8	3	松本	47.9	183.0	2	山口	50.0	172.0	2
小樽	39.9	187.3	3	富山	47.4	182.0	2	下関	50.1	171.0	2
室蘭	40.9	187.4	3	金沢	47.6	181.1	2	高松	50.0	176.5	2
函館	41.5	187.1	3	福井	48.1	180.4	2	徳島	50.3	177.4	2
青森	42.5	187.2	2	甲府	48.5	184.4	2	松山	50.5	174.2	2
八戸	42.8	188.4	2	静岡	49.3	184.2	2	高知	50.9	175.5	2
弘前	42.8	186.8	2	浜松	49.6	183.0	2	北九州	50.2	170.9	2
盛岡	43.7	188.0	2	豊橋	49.6	182.4	2	福岡	50.5	170.0	2
秋田	43.8	186.4	2	名古屋	49.1	181.6	2	佐賀	50.8	169.7	2
仙台	45.3	187.8	2	岐阜	48.8	181.3	2	佐世保	50.8	168.6	2
鶴岡	44.9	186.1	2	津	49.6	180.9	2	長崎	51.3	168.8	2
山形	45.4	187.0	2	大津	49.3	179.7	2	大分	51.0	172.0	2
福島	46.0	187.3	2	奈良	49.7	179.7	2	熊本	51.4	170.3	2
郡山	46.4	187.2	2	京都	49.3	179.6	2	宮崎	52.5	171.4	1
いわき	46.7	188.1	2	大阪	49.7	179.1	2	鹿児島	52.7	169.7	1
水戸	47.5	187.5	2	和歌山	50.2	178.5	2	那覇	58.0	161.7	1
宇都宮	47.4	186.5	2	神戸	49.7	178.6	2	石垣島	58.5	153.0	1
前橋	47.6	185.2	2	姫路	49.5	177.7	2				

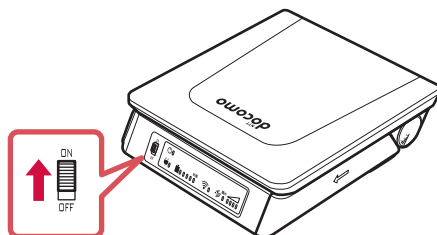
- 主な都市におけるワイドスターIIIアンテナの仰角および方位角は、東京は東京都庁、それ以外は各都市の市役所の緯度、経度で求めた数値です。
- 方位角の数値は、偏角(地図上の北(真北)と方位磁針の北(磁北)とのずれ)を含んでいません。方位磁石(方位コンパス)で方位角を調整される場合は、偏角を考慮する必要があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

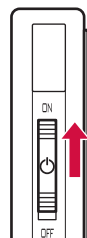
1 衛星端末の電源スイッチを「ON」の方向へスライドする

衛星端末が起動します。



2 ハンドセットの電源スイッチを「ON」の方向へスライドする

- ・ハンドセットに起動中画面が表示され、暗証番号（ハンドセットPIN）（→P.34）の入力画面が表示されます。
- ・衛星端末とハンドセットを初めて接続した場合は、ハンドセットの登録などの初期設定が必要です。→P.33
- ・登録が完了していないハンドセットをご使用の場合、衛星端末やハンドセットの電源を入れたり切ったりする制御ができなくなることがありますので、電源を入れた後は必ずハンドセットの登録を完了させてください。→P.33



3 アンテナ面の向きを調整する

圏外／レベルランプがなるべく強いレベルを指すように、衛星端末の向きおよびアンテナ面の角度を調整してください。→P.27

お知らせ

- 電池パックをお買い上げ後に初めてご利用になる際は、必ず衛星端末にACアダプタを接続し充電してご利用ください。電池パックは、お買い上げ後に初めて充電されるまで工場出荷状態となっており、衛星端末を起動できませんのでご注意ください。→P.25
- nanoSIMカードが挿入されていても「SIMカードが挿入されていません」とメッセージが表示される場合は、以下をご確認ください。
衛星端末のアンテナ面が閉じている場合：
アンテナ面を閉じた状態では衛星端末本体がnanoSIMカードの挿入判定をしない仕様になっています。そのため、アンテナ面を閉じた状態で衛星端末の電源をオンにしても、ハンドセットの画面上に「SIMカードを読み込んでいます」と表示され続け、待ち受け状態になりません。アンテナ面を適切な角度に開いてご使用ください。→P.27
衛星端末のアンテナ面が開いている場合：
nanoSIMカードが正しく挿入されているかご確認ください。
- 衛星端末の電源スイッチが「ON」になっていないとハンドセットの電源を入れることができません。衛星端末、ハンドセットの電源が入らない場合は、衛星端末とハンドセットの電源スイッチを「OFF」にした後、最初の手順からやり直してください。
- 衛星端末の電源スイッチが「OFF」のままでもハンドセットの電源スイッチ操作により、衛星端末の電源が入る場合があります。この場合も必ず衛星端末の電源スイッチを「ON」にしてご利用ください。

電源を切る

1 ハンドセットの電源スイッチを「OFF」の方向へスライドする

2 衛星端末の電源スイッチを「OFF」の方向へスライドする

- 登録が完了していないハンドセットをご使用の場合、衛星端末やハンドセットの電源を入れたり切ったりする制御ができなくなることがありますので、電源を入れた後は必ずハンドセットの登録を完了させてください。→P.33
- 衛星端末の電源スイッチを「OFF」の方向へスライドしてから、衛星端末本体の電源が切れて衛星端末電源ランプが消灯するまでにしばらく時間がかかります。衛星端末を操作せずにしばらくお待ちください。

お知らせ

- 電池パックを取り付けずに、ACアダプタを接続して衛星端末を利用している場合、ACアダプタの取り外しは、必ず衛星端末の電源を切ってから行ってください。
- ハンドセットおよび衛星端末の電源スイッチを操作する以外の方法で電源を切らないでください。お客様が登録された情報や設定内容が消失するおそれがあります。
- 衛星端末の電源が切れない場合は、再度衛星端末とハンドセットの電源を入れ直した後、暗証番号（ハンドセットPIN）（→P.34）を入力し、ハンドセットの登録などの初期設定（→P.33）を行ってから電源を切ってください。

初期設定

衛星端末とハンドセットを初めて接続し、電源を入れたときは、ハンドセットの登録などが必要になります。画面の指示に従って設定してください。

1 ハンドセットの暗証番号(ハンドセットPIN)(→P.34)を入力する

2 本体認証コード(→P.34)を入力する

3 ハンドセット登録の画面で (完了)

お知らせ

- 上記の操作3の後、サービス制限についての画面が表示される場合があります。その場合は「サービス制限」(→P.64)を参照の上設定してください。
- 衛星端末に接続したパソコンなどの機器からデータ通信を行うには、データ通信に関する各種設定が必要です。→P.72
- 初期設定が完了したハンドセットを別の衛星端末に接続した場合、改めて初期設定が必要となることがあります。

暗証番号・パスワードについて

衛星端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号やパスワードが必要な場合があります。用途ごとに上手に使い分けて、衛星端末を活用してください。

■ 暗証番号・パスワードに関するご注意

- ・ 設定する暗証番号・パスワードには、「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号を使用しないでください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
 - ・ 暗証番号・パスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号・パスワードが他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
 - ・ ネットワーク暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や衛星端末、ハンドセットを当社窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「お問い合わせ先」までご相談ください。
- 本体認証コード、ハンドセットPIN、Adminログインパスワードを忘れてしまった場合は、衛星端末やハンドセットを初期化する必要があります。→P.62
- ・ PINロック解除コード（PUK）は、ご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。PINロック解除コード（PUK）が不明なお客様は、法人営業担当者もしくは裏表紙の「お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただき、際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

PINコード

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または衛星端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- ・ 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- ・ PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- ・ PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、法人営業担当者にお問い合わせください。

本体認証コード

衛星端末の機能を制限するための暗証番号です。4～12桁の番号を設定できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

ハンドセットPIN

ハンドセットの機能を制限するためのパスワードです。4～12桁の番号を設定できます。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

Adminログインパスワード

衛星電話管理ツールにAdmin権限でログインするためのパスワードです。→P.73

お知らせ

- セキュリティの確保のため、ハンドセットPINやAdminログインパスワードはお買い上げ時から変更してお使いになることをおすすめします。

基本操作

項目の選択（カーソルの合わせかた）

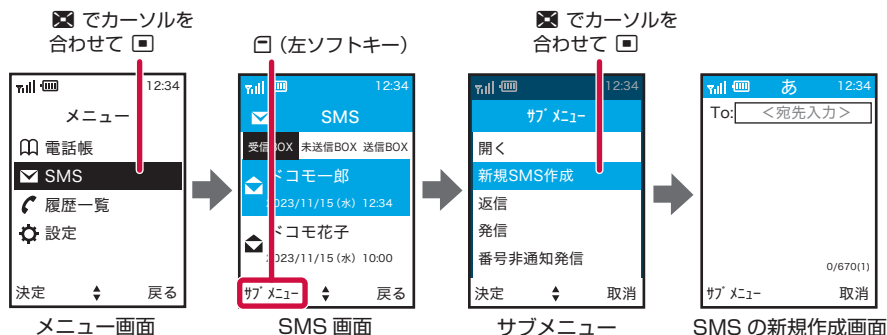
- ☒（方向キー）を押して、目的のメニュー項目や表示項目にカーソルを移動し、項目を選択する方法です。
- カーソルを移動するとカーソル位置の色が変わります。
 - 本書の操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記の例	意味
メニュー画面 ▶ [SMS] ▶ ☐（サブメニュー）▶ [新規SMS作成]	メニュー画面から、☒で「SMS」にカーソルを合わせて☐を押します。続けて、画面の下部に「サブメニュー」と表示されている側の☐（左ソフトキー）を押し、「新規SMS作成」にカーソルを合わせて☐を押します。

例：SMSを新規に作成する

1 メニュー画面 ▶ [SMS] ▶ ☐（サブメニュー）▶ [新規SMS作成]

SMSの新規作成画面が表示されます。



お知らせ

- カーソルを合わせた項目を決定するときに、☐または☐（完了）のどちらを押しても決定できる場合があります。その場合、本書では基本的に☐を押す操作で説明しています。
- 本書では、設定などが完了したときにメッセージが表示される画面で☐（完了）を押して完了する操作を省略している場合があります（☐を押さなくても設定などが完了しており影響がない場合）。

メニューの操作

待受画面で  を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。

- メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

 : 待受画面に戻ります。

 : 1つ前のメニューに戻ります。

(画面の右下に「戻る」が表示されている場合は、 (右ソフトキー) で戻ることもできます)



自分の電話番号を確認する

ご利用の電話番号を確認できます。

1 待受画面で ()

端末情報画面が表示され、自局電話番号欄に自分の電話番号が表示されます。

お知らせ

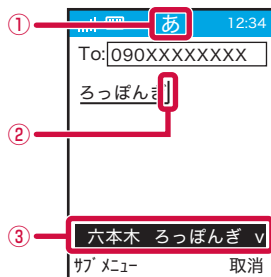
- 自分の電話番号は、衛星端末に接続したパソコンなどから、衛星電話管理ツールを利用して確認することもできます。
→P.88

文字入力について

電話帳やSMSなどで文字を入力する方法を説明します。

- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／数字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- 本書では文字入力の最後に  を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

文字入力画面の見かた



- ① **入力モード**
 - 入力モードが表示されます。  を押すたびに入力モードが切り替わります。
 - かな（ひらがな／漢字）
 - カタカナ
 - 英字（英字／記号）
 - 数字
- ② **カーソル**
 - 文字が入力または挿入される位置を示します。
- ③ **変換候補**

お知らせ

- 電話番号を入力するときの入力モードは、数字となります。
- 文字を入力する画面によって切り替えられる入力モードは異なります。

文字を入力する

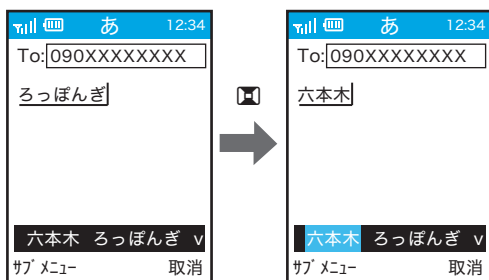
1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。

ひらがな／漢字で文字を入力する

例：SMSの入力画面で「六本木」と入力する

1 SMSの入力画面で「ろっぽんぎ」と入力▶

「ろ」：  を5回
「っ」：  を3回→  を2回
「ぼ」：  を5回→  を2回
「ん」：  を3回
「ぎ」：  を2回→ 



- 入力中は次の操作ができます。

：文字の取り消し
：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え、改行（長押し）
（例：ほ→ぼ→ぽ→ほ→…、つ→づ→っ→つ→…）
：句読点（、。）の付加
～：数字の入力（キーを複数回押して入力候補の最後）
（英字モード）：記号（. - @ _ / : '）の入力
（英字モード）：記号（! " # \$ % & ' () * + , ; < = > ?）、スペースの入力
：変換候補を選択

- 変換しないときは、を押さずにを押して確定します。
- 数字モードのときはで「*」および「+」、で「#」を入力できます。

2 変換候補から「六本木」を選択して

- 「六本木」の入力が完了します。

文字を挿入するには：

を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除するには：

- を押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
- を3秒以上押すと、すべての文字が削除されます。

お知らせ

- 入力中にを押して文字が確定された場合は、次の操作はできません。
：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え

電話

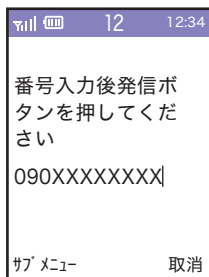
電話をかける

- ハンドセットのいずれかのボタンを押下し、待受画面を表示させた状態から発信してください。

待受画面で番号を入力して電話をかける

1 電話番号を入力

- 同じ市内への通話でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号を押し間違えたときは、を押してください。



2

3 通話が終わったら

お知らせ

- 先にを押してから電話番号を入力することも可能ですが、その場合は電話番号を入力後、再度を押してください。
- 連続して発信する場合は、終話後、数秒程度間隔を空けてから発信してください。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直してください。→P.40
- イヤホンマイク（市販品）を使用してハンズフリーで通話も可能です。
- 自分の声や相手の声が遅れて聞こえることがあります。
- 相手が電話を切った場合でも、を押してください。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が発信者番号を表示できるときに表示されます。

電話番号の前に「184」／「186」を付加する

1 待受画面で、 または  ▶電話番号を入力▶

- 「184」は番号非通知、「186」は番号通知となります。

サブメニューを利用する

1 待受画面で電話番号を入力▶ (サブメニュー)

2 [番号非通知発信]／[番号通知発信]

設定メニューであらかじめ通知／非通知を設定する

設定メニューの「発信者番号通知」であらかじめ通知／非通知を設定することもできます。→P.59

■ 発信者番号通知／非通知の優先について

設定メニューであらかじめ通知／非通知を設定しても、「184」／「186」を付加して発信した場合、またはサブメニューからの選択を利用して発信した場合は、そちらが優先されます。

- 「184」／「186」の付加とサブメニューからの選択を同時に行うと、ご利用方法を確認の上かけ直すようガイダンスが聞こえ、発信できないことがあります。

お知らせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」をつけてからおかけ直してください。
- 電話帳に登録していない相手に「184」または「186」を付けて発信した場合、発信履歴にはその番号が付いた電話番号が記録されます。
- 国際電話の着信では、相手が発信者番号通知の設定をしていても、通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から発信できません。

プッシュ信号を送る

通話中にダイヤルキーを押すと、プッシュ信号を送ることができます。
プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。

1 通話中に番号を入力

通話中画面で押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

緊急通報

衛星電話から警察／消防・救急／海上保安庁に緊急通報することができます。

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安庁への通報	118

お知らせ

- 衛星端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「1184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
なお、屋外設置アンテナ使用時は、GPSを利用した位置情報を緊急通報受理機関に通知できません。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- nanoSIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合は、衛星端末からかけていることを伝え、警察機関などの緊急通報受理機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号と現在地を明確に伝えてください。または、電波が途中で切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らずに、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- ダイヤルロック中などの場合も、画面右下に「緊急通報」が表示されているときは、を押して緊急通報をかけることができます。
- 着信拒否設定がオンの場合でも、緊急通報を発信すると緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は無効になります。
- 緊急通報発信時は、お客様の設定に関わらずGPSの設定がオンになります。この設定変更は終話後約20秒間継続します。
- 緊急通報受理機関からの着信、および着信後約20秒間はお客様の設定に関わらず着信します。

警察／消防・救急へ通報する

- 消防・救急への緊急通報は、東京都（都道府県番号31）のみご利用可能です（2023年10月現在）。

1 

2 

音声ガイダンスが流れます。

- 都道府県番号がわかっているときは、都道府県番号を入力してください。警察／消防・救急へつながります。
- 都道府県番号がわからないときは、操作3へ進みます。

3 

都道府県番号を検索する画面が表示されます。

4 呼び出したい都道府県番号の頭文字を選択

選択した行の頭文字から始まる地域名が表示されます。

5 呼び出したい都道府県番号を選択

警察／消防・救急へつながります。

都道府県番号一覧

行	ご利用地域	番号	行	ご利用地域	番号	行	ご利用地域	番号
ア	愛知	46	サ	埼玉	35	ハ	兵庫	51
	青森	25		佐賀	64		広島	57
	秋田	28		滋賀	48		福井	44
	石川	43		静岡	41		福岡	63
	茨城	32		島根	55		福島	30
	岩手	26	タ	千葉	36		北海道 旭川	22
	愛媛	61		東京	31		北海道 北見	24
	大分	67		徳島	59		北海道 釧路	23
	大阪	50		栃木	33		北海道 札幌	20
	岡山	56		鳥取	54		北海道 函館	21
カ	沖縄	70	ナ	富山	42	マ	三重	47
	香川	60		長崎	65		宮城	27
	鹿児島	69		長野	40		宮崎	68
	神奈川	37		奈良	52	ヤ	山形	29
	岐阜	45		新潟	38		山口	58
	京都	49					山梨	39
	熊本	66				ワ	和歌山	53
	群馬	34						
	高知	62						

お知らせ

- 待受画面で (緊急通報) ▶ [警察 (110)] / [消防・救急 (119)] ▶ 都道府県番号 (地域番号) を選択して または (通話) を押しても、緊急通報がかけられます。
- 本書記載の都道府県番号は厚生労働省や総務省が定める都道府県番号や都道府県コードとは異なり、ワイドスター独自の番号となります。

海上保安庁へ通報する

1

2

海上保安庁へつながります。

お知らせ

- 待受画面で (緊急通報) ▶ [海上保安庁 (118)] を押しても、緊急通報がかけられます。

国際電話 (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

1 待受画面で ▶ 国番号を入力 ▶ 地域番号(市外局番)を入力 ▶ 相手の電話番号を入力 ▶

- 待受画面で ▶ を押してから番号を入力しても電話をかけられます。

お知らせ

- 地域番号 (市外局番) が「0」で始まる場合には先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 携帯電話へかける場合は、市外局番の入力を省略できます。

電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、LEDランプが点滅する

着信中の表示

- 相手の電話番号が通知されなかったときは、相手の名前や電話番号は表示されません。
- 電話帳に登録しているときは、相手の名前と電話番号が表示されます。

着信中の操作

-  を押すと、電話を受けずに切断（着信拒否）できます。

2

3 通話が終わったら

お知らせ

- 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [キーパッド設定] ▶ [エニーキー応答設定] を [On] に設定すると、ダイヤルキーを押しても電話に出ることができます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中着信設定が「開始」の場合、通話中に別の電話が着信すると、「プブ…プブ」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、転送でんわサービスを開始していると各サービスが動作します。
- 転送電話着信時も、通常の着信時と同様に名前が表示されます。ただし、転送元によっては電話番号や名前が表示されない場合があります。
- 相手が電話を切った場合でも、 を押してください。
- 通話していないときに音が鳴った場合は、 を押して音を止めてください。
- 音声着信を同時に知らせることができるハンドセットの数は5台です。

通話中の操作

通話中に保留する

1 通話中に (保留) /

- 通話が保留になり、通話保留音が流れます。
- 保留中も発信側に通話料金がかかります。

2 通話を再開するときは (通話) /

通話中に受話音量を調節する

レベル1（最小）～レベル7（最大）の7段階で調節します。

1 通話中に音量上／下キーを押す

-  （マイクOFF）を押すと、自分の声をミュートできます。
- 通話中に調節した受話音量は、衛星電話管理ツールで設定した受話音量には反映されません。

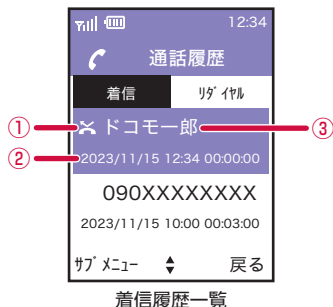
着信履歴／発信履歴

着信履歴／発信履歴は、最新の履歴からそれぞれ100件まで保存されます。

- 着信履歴／発信履歴はハンドセット内に保存されます。
- ハンドセットを複数台使用されている場合には、着信時に応答したハンドセット以外にも「不在着信」として履歴が残ります。

1 待受画面で /

-  で画面を切り替えることができます。
- 待受画面で  [履歴一覧] と操作しても、着信履歴／発信履歴一覧を表示することができます。



着信履歴一覧



発信履歴一覧

- ① 不在着信
- ② 発信日時
- ③ 相手の名前／電話番号

- 着信時に電話に出られなかったときは、着信履歴に「」が表示されます。発信時に相手が不在の場合は、発信履歴に「」が表示されます。
- 着信時に相手の電話番号が通知されなかったときは、着信履歴に非通知による着信があったことが表示されます。

着信履歴／発信履歴を表示中のメニュー

着信履歴／発信履歴一覧で相手にカーソル   (サブメニュー)

発信	選択した相手に発信します。
番号非通知発信	番号を非通知で発信します。→P.40
番号通知発信	番号を通知して発信します。→P.40
SMS作成	SMSを作成します。→P.49
電話帳登録	電話帳に登録します。→P.46
迷惑電話ストップ	指定した番号からの着信を拒否します。
削除	履歴を削除します。
全登録削除	履歴をすべて削除します。

着信履歴／発信履歴から発信する

発信したい相手の着信履歴／発信履歴にカーソルを合わせる  

- 履歴から発信する場合は、カーソルを合わせたところで  を押してください。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、電話に出られないときなどに、音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。→P.58

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

通話中に、周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にします。

- 衛星端末本体の設定のため、ハンドセットごとに設定することはできません。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[音設定]** ▶ **[ノイズキャンセラ設定]**

2 **[On]**／**[Off]**

エコーを抑える

自分が話した声が、相手の声といっしょに受話口から聞こえるときがあります。
自分の声が相手に聞こえやすくするかを設定します。

- 衛星端末本体の設定のため、ハンドセットごとに設定することはできません。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[音設定]** ▶ **[エコーキャンセラ設定]**

2 **[On]**／**[Off]**

電話帳

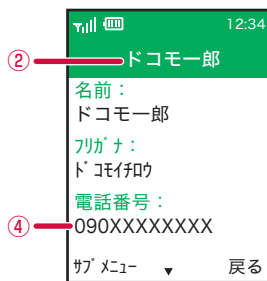
衛星端末で利用できる電話帳について

衛星端末では、ハンドセットの電話帳を使用できます。

- 電話帳登録件数は最大200件です。グループ登録は最大100件です。
- 電話帳に登録している名前と電話番号が発着信中、呼出中、通話中の画面に表示されます。



電話帳一覧画面



電話帳詳細画面

① 検索欄

- 電話帳の「名前」欄に登録した文字列で検索できます。
 - 登録した文字列が漢字の場合、ひらがなでは検索できません。漢字で検索してください。
 - フリガナでの検索はできません。

② 名前

③ グループ名（登録数）

④ 電話番号

電話帳に登録する

ハンドセットの電話帳に登録します。

- お客様ご自身でハンドセットに登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。ハンドセットの故障や修理、その他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 同じ電話番号を違う名前に登録することはできません。

1 待受画面で ▶ **【電話帳】** ▶ カーソルが検索欄にある状態で (サブメニュー) ▶ **【新規登録】**

2 「名前」欄に名前を入力

3 「フリガナ」欄にフリガナを入力

4 「電話番号(必須)」欄に電話番号を入力

- 電話番号は市外局番から入力します。

5 **【着信自動応答】**

- 自動的に着信に応答し、通話状態になる機能です。
- を押すたびに「On」／「Off」が切り換わります。

6 **【着信拒否】**

- を押すたびに「On」／「Off」が切り換わります。
- 着信自動応答と着信拒否を同時に「On」に設定することはできません。

7 □ (登録)

お知らせ

- 着信自動応答を「On」に設定した場合、着信があるときに着信応答しますので、呼び出し音が鳴らないことがあります。

電話帳を編集する

1 待受画面で □ ▶ [電話帳] ▶ 編集する電話帳を選択

- 編集する電話帳の詳細画面が表示されます。

2 □ (サブメニュー) ▶ [編集] ▶ 内容を編集 ▶ □ (登録)

- 削除する場合は、[削除] ▶ □ (はい) と操作します。

グループを登録する

1 待受画面で □ ▶ [電話帳] ▶ カーソルが検索欄にある状態で □ (サブメニュー) ▶ [新規グループ登録]

2 「グループ名」と「フリガナ」を入力 ▶ □ (登録)

3 グループに登録する名前を選択 ▶ □ (終了)

電話帳から電話をかける

電話をかける相手を、電話帳から呼び出します。

1 待受画面で □ ▶ [電話帳]

2 検索欄に語句を入力

- 入力した語句を含む電話帳が一覧表示されます。

3 かける相手にカーソル ▶ □ (サブメニュー) ▶ [発信]

お知らせ

- 電話帳を検索する場合、電話帳の「名前」欄に登録した文字列で検索できます。フリガナでの検索はできません。

電話帳表示中のメニュー

電話帳一覧画面で名前にカーソル ▶ □ (サブメニュー)

発信	選択した相手に発信します。
番号非通知発信	番号を非通知で発信します。→P.40
番号通知発信	番号を通知して発信します。→P.40
SMS作成	SMSを作成します。→P.49
編集	電話帳を編集します。
削除	電話帳を削除します。

電話帳詳細画面で □ (サブメニュー)

編集	電話帳を編集します。
削除	電話帳を削除します。

電話帳をインポート／エクスポートする

電話帳のデータをインポート／エクスポートします。

電話帳をインポートする

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [電話帳コピー]

2 [電話帳をインポートする]

3  (インポート) ▶ 以降、画面の指示に従って操作

- ・パスワードが設定されている電話帳をインポートする場合は、パスワードの入力が必要になります。

電話帳をエクスポートする

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [電話帳コピー]

2 [電話帳をエクスポートする]

3 [パスワードなし]／[パスワード] ▶ 以降、画面の指示に従って操作

- ・[パスワード] を選択すると、電話帳をインポートする際に同じパスワードの入力が必要になるように設定できます。
- ・パスワードは4～12文字の数字で設定できます。

お知らせ

- 本機能はハンドセットの電話帳データを衛星端末にバックアップする機能です。
- 電話帳データが衛星端末側に格納されているだけでは、電話帳は表示できません（パソコン上での閲覧なども不可となります）。お使いのハンドセットでインポートしてください。

電話帳のコピーデータを削除する

電話帳のインポートまたはエクスポートで利用したデータを削除します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [電話帳コピー]

2 [コピーを削除する] ▶  (はい)

電話帳の表示／非表示を設定する

電話帳の閲覧や編集ができないようにするかどうかを設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [電話帳表示]

2 [表示]／[非表示] ▶ 暗証番号(ハンドセットPIN)を入力 ▶  (完了)

- ・ステータスバーに「On」が表示されると、待受画面で  ▶ [電話帳] を押しても電話帳の閲覧ができなくなります。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- 受信したSMSは衛星端末に保存され、ハンドセットは衛星端末からSMSを取得して表示します。また、未送信SMSと送信済みSMSはハンドセットに保存されます。
- 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス(SMS)」をご覧ください。

<https://www.docomo.ne.jp/service/sms/>

SMSを作成して送信する

1 待受画面で ▶ [SMS]

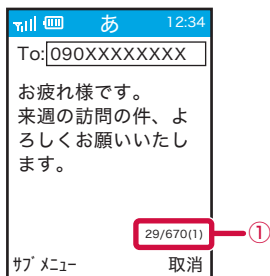


2 (サブメニュー) ▶ [新規SMS作成]

3 宛先欄(To:)を選択 ▶ 宛先を入力

-  (電話帳) を押すと電話帳に登録済みの宛先を入力できます。

4 ▶ メッセージを入力



① 文字数 / 送信予定SMS数

- 入力画面の右下に次の情報が表示されます。
XXX/670 :
 - XXX … 入力中の文字数
 - 670 … 最大文字数

5 □ (サブメニュー) ▶ [送信]

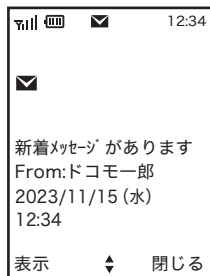
- SMSが送信されます。
- 送信したSMSは「送信BOX」で確認できます。
- □ (サブメニュー) ▶ [保存] / [削除] を選択すると、入力したSMSの下書き保存や削除ができます。

お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先に海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184/186を付与した場合はSMSを送信できません。
- 送信エラーとなったSMSは、未送信BOXに格納されます。
- SMSの送信結果（成功／失敗）がすぐに通知されない場合、SMSの送受信が進行中である可能性があります。この場合、SMSの送受信が完了するまでお待ちください。また、衛星端末本体の電源を切らないでください。SMSが消失する可能性があります。

SMSを受信したときは

SMSを受信すると、待受画面に受信したことをお知らせするメッセージが表示されます。



- □ (表示) を押すと、SMSの詳細画面が表示されます。
- □ (閉じる) を押すと、待受画面に戻ります。

SMSを表示する

1 待受画面で [SMS]

2 でBOXを選択

- 「受信BOX」：受信したSMS
- 「未送信BOX」：未送信のSMS
- 「送信BOX」：送信済みのSMS



3 表示したいSMSを選択

- 選択したSMSの詳細が表示されます。

お知らせ

- 受信BOX／未送信BOX／送信BOXに保存できる最大件数は各100件です（長文のメッセージがある場合は、実際に保存できる件数は最大件数よりも少なくなります）。

SMSのメニュー

SMSの各BOXの一覧画面およびSMSの詳細画面で （サブメニュー）

- 画面によって表示される項目は異なります。

開く	SMSの詳細画面を表示します。→P.51
新規SMS作成	SMSを新規に作成します。→P.49
返信	SMSに返信します。→P.52
発信	SMSの差出人に電話をかけます。
番号非通知発信	SMSの差出人に番号非通知で電話をかけます。→P.40
番号通知発信	SMSの差出人に番号通知で電話をかけます。→P.40
SMS問合せ	SMSセンターに接続し、新着のSMSがあるかどうかを確認します。
削除	SMSを削除します。→P.52
保護／保護解除	SMSを保護／保護解除します。→P.53
全削除	すべてのSMSを削除します。→P.52

SMSに返信する

- 1 待受画面で  ▶ [SMS]
- 2 [受信BOX] ▶ 返信したいSMSを選択
- 3  (サブメニュー) ▶ [返信]
- 4 メッセージを入力▶  (サブメニュー) ▶ [送信]
 - SMSが送信されます。
 - 送信したSMSは「送信BOX」で確認できます。
 - SMSを転送したい場合は、宛先欄 (To:) に転送したい相手の宛先を入力します。

未送信のSMSを送信する／再送する

- 1 待受画面で  ▶ [SMS]
- 2 [未送信BOX] ▶ 送信したいSMSを選択
- 3  (サブメニュー) ▶ [送信]
 - SMSが送信されます。
 - 送信したSMSは「送信BOX」で確認できます。

SMSを削除する

- 1 待受画面で  ▶ [SMS]
- 2  でBOXを選択▶ 削除したいSMSを選択
- 3  (サブメニュー) ▶ [削除]
 - 操作2のBOX内の一覧表示で、 (サブメニュー) ▶ [全削除] と操作すると、すべてのSMSを削除できます。その場合は、本体認証コードの入力が必要となります。
 - 保護を設定しているSMSは削除できません。削除するには、あらかじめ保護を解除してから操作を行ってください。

SMSの各機能を利用する

SMSの送達通知を設定する

送信相手にSMSが届けられたことを確認できる通知の設定をします。

- 送達通知機能がオンの場合は、SMSが相手に届くと、「送信BOX」のSMSのタイトルに「」が表示されるようになります。

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [SMS送達通知]
- 2 [通知する]／[通知しない]

SMSの有効期限を設定する

送信相手がSMSを利用できない場合に、ネットワーク上にSMSが保存される期間を設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [SMS有効期限設定]

2 [0] / [1] / [2] / [3]

SMSの引用を設定する

SMSを返信する際に、メッセージの内容を引用するかどうかを設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [SMS引用設定]

2 [する] / [しない]

SMSの自動保存を設定する

SMSの作成中に  などを押して操作を終了した場合に、作成中のSMSを自動的に保存するかどうかを設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [SMS自動保存]

2 [On] / [Off]

SMSの受信拒否を設定する

SMSの受信を拒否するかどうかを設定します。→P.61

SMSの受信／送信を制限する

SMSの受信や送信を制限するかどうかを設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [サービス制限] ▶ 本体認証コードを入力 ▶  (決定)

2 [SMS受信制限] / [SMS発信制限] ▶ [On] / [Off]

SMSを保護する／保護を解除する

対象のSMSを削除できないように設定します。

- 保存できる最大件数を超えた場合の自動削除機能からも保護されます。保護を解除することで、自動削除の対象になります。
- 保護されているSMSの本文を開くと、保護マーク「」が表示されます。

1 待受画面で  ▶ [SMS]

2  でBOXを選択 ▶ 保護したいSMSを選択

3  (サブメニュー) ▶ [保護]

- 保護を解除する場合は [保護解除] を選択します。

設定

設定メニュー

待受画面で  [設定] を選択して表示されるメニューから、各種設定を行うことができます。

項目	説明	参照先
ダイヤルロック設定	ダイヤルキーをロックして、他人の不正な使用を防ぎます。	P.55
SIMロック	電源を入れたときのSIMロックについて設定します。	P.55
日付時刻設定	日付や時刻を設定します。	P.56
LED設定	LEDランプの動作を設定します。	P.56
画面表示設定	画面の明るさやテーマなどを設定します。	P.56
キーパッド設定	キーの照明やエニーキー応答を設定します。	P.57
音設定	着信音量やキー操作時の確認音の音量などを設定します。	P.57
ネットワークサービス	ドコモのネットワークサービスについて設定します。	P.58
リセット	衛星端末を工場出荷状態に戻します。	P.62
電話帳コピー	電話帳をインポート／エクスポートします。	P.48
電話帳表示	電話帳の閲覧や編集ができないように設定します。	P.48
GPS設定	位置情報の利用を設定します。	P.63
SMS送達通知	送信相手にSMSが届けられたことを確認できる通知の設定をします。	P.52
デバイスログ送信	衛星端末のシステムログやアラームログを送信します。	P.63
PINコード設定	暗証番号（ハンドセットPIN）を設定します。	P.63
SMS有効期限設定	送信相手がSMSを利用できない場合に、ネットワーク上にSMSが保存される期間を設定します。	P.53
SMS引用設定	SMSを返信する際に、メッセージの内容を引用するかどうかを設定します。	P.53
SMS自動保存	作成中のSMSを自動的に保存するかどうかを設定します。	P.53
通話時間・通信量	通話時間やデータ通信量を表示します。	P.64
本体認証コード変更	本体認証コードを変更します。	P.64
サービス制限	電話の発着信やSMSの受送信を制限します。	P.64
PINコード変更	nanoSIMカードに設定したPINコードを変更します。	P.65
アナログ電話機設定	衛星端末に接続したアナログ電話機の発信者番号表示を設定します。	P.65

ダイヤルロック設定

ダイヤルロックを設定すると、ダイヤルキーなどの操作ができなくなり、他人が不正に衛星端末を使用するのを防げます。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ダイヤルロック設定]**

2 **[ダイヤルロック]** ▶  (ロック) ▶  (完了)

- 待受画面で  を2秒以上長押ししてもダイヤルロックを設定できます。
- ダイヤルロックが設定されるとステータスバーに「」が表示され、キーを押しても操作ができなくなります。

ダイヤルロックを解除する

待受画面で  () を押す ▶ 暗証番号（ハンドセットPIN）を入力 ▶  (完了) を押すと、ダイヤルロックが解除されます。

自動的にダイヤルロックがかかるように設定する

ハンドセットを操作しない状態で一定の時間が経過すると、自動的にダイヤルロックがかかるように設定できます。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ダイヤルロック設定]**

2 **[ロック時間]** ▶ **[Off]** / **[30秒]** / **[60秒]**

お知らせ

- ダイヤルロック中でも次の機能は利用できます。
 - 電話を受ける操作
 - 緊急通報（110番、119番、118番）への発信

SIMロック

電源を入れたときに、PINコードを入力しないと発着信やメニューなどの操作ができないように設定します。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[SIMロック]**

2 PINコードを入力 ▶  (ロック)

SIMロックを解除するには

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[SIMロック解除]**

2 PINコードを入力 ▶  (完了)

お知らせ

- 衛星電話管理ツールの「SIMカード設定」でもSIMロックの設定ができます。→P.80

日付時刻設定

日付と時刻は、通常はネットワークからの情報を受信して自動的に設定されます。手動で設定する場合は、以下の操作で日付と時刻の情報を入力します。

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [日付時刻設定] ▶ [設定方法]
- 2 本体認証コードを入力 ▶  (決定)
- 3 [手動設定] ▶ 入力欄を  で選択し、ダイヤルキーで数字を入力 ▶  (決定)
 - ・日付と時刻をネットワークからの情報で自動的に設定する場合は、[自動設定] を選択します。

待受画面の日付と時刻の表示／非表示を設定する

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [日付時刻設定] ▶ [待受画面表示]
- 2 [表示]／[非表示]

LED設定

電話の着信時やSMS受信時などにLEDランプが点滅するかどうかを設定します。

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [LED設定]
- 2 各項目を選択 ▶ [On]／[Off]
 - ・不在着信：不在着信があった場合にLEDランプが紫色に点灯します。
 - ・着信：着信時にLEDランプが緑色に点滅します。
 - ・SMS受信：SMSを受信した場合にLEDランプが紫色に点灯します。
 - ・モバイルライト：衛星端末本体のLEDパネルが点灯します。

画面表示設定

画面の明るさやテーマなどを設定します。

- 1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [画面表示設定]
- 2 各項目を設定

- ・輝度設定：画面の明るさを7段階で設定します。
- ・バックライト設定：画面のバックライトの点灯方法を設定します。

On	常に点灯
Off	常に消灯
15秒	15秒後に消灯

- ・スクロール表示設定：画面を  でスクロールしたときの移動を、1行／3行／1ページで設定します。
- ・カラーテーマ：画面のテーマを黒または白で設定します。

キーパッド設定

キーの照明やエニーキー応答を設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [キーパッド設定]

2 各項目を選択 ▶ [On] / [Off]

- キーライト設定：キーの照明を設定します。
- エニーキー応答設定：電話の着信時に、ダイヤルキーを押しても応答できるように設定します。

音設定

着信音量やキー操作時の確認音の音量などを設定します。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [音設定]

2 各項目を設定

- 着信音量設定：着信音量を7段階で設定します。
- キー確認音設定：キー操作時の確認音の音量を7段階で設定します。
- ノイズキャンセラ設定：ノイズキャンセラを設定します。→P.45
- エコーキャンセラ設定：エコーキャンセラを設定します。→P.45

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

衛星端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	P.58
転送でんわサービス	要	無料	P.59
発信者番号通知	不要	無料	P.59
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.59
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.60
通話中着信設定	不要	無料	P.60
着信通知サービス	不要	無料	P.60
英語ガイダンス	不要	無料	P.60
遠隔操作	不要	無料	P.61
公共モード	不要	無料	P.61
SMS受信拒否	不要	無料	P.61
プライバシー設定	不要	無料	P.61

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、衛星端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- お申し込み、お問い合わせについては法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、電話に出られないときなどに、音声電話をかけてきた相手に応答メッセージでお応えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- ・ 伝言メッセージがあるときは、待受画面に「新着メッセージがあります」と表示されます。また、ステータスバーに「☎」が表示されたときは、伝言メッセージがあることを示しています。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する

ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する

ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]** ▶ **[留守番電話サービス]** ▶ **[留守番電話]**

2 **[開始]**／**[停止]**

留守番電話サービスのメニュー項目

留守番電話	留守番電話サービスを利用するかどうかを設定します。
呼出時間	呼び出しまでの時間を設定します。
設定	サービス内容を変更します。
メッセージ再生	伝言メッセージを再生します。
メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

※詳細はドコモのホームページをご確認ください。

転送でんわサービス

かかてきた電話をあらかじめ登録した他の携帯電話やオフィス、ご家庭の電話などに転送するサービスです。

- ・転送でんわサービスが開始の時に電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

- ステップ1：転送先の電話番号を登録する
ステップ2：サービスを開始に設定する
ステップ3：お客様の衛星端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 待受画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークサービス】**

2 **【転送でんわサービス】** ▶ **【転送でんわ】**

3 **【開始】**／**【停止】** ▶ 

転送でんわサービスのメニュー項目

転送でんわ	転送でんわサービスを利用するかどうかを設定します。
呼出時間	呼び出しまでの時間を設定します。
転送先通話中時設定	転送先が通話中の場合に、留守番電話サービスに転送するかどうかを設定します。
転送先設定／変更	転送する電話番号を設定します。
ガイダンス設定	電話の相手にガイダンスが流れるようにするかどうかを設定します。

発信者番号通知

電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを選択できます。

1 待受画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークサービス】**

2 **【発信者番号通知】** ▶ **【通知】**／**【非通知】** ▶ **ネットワーク暗証番号を入力** ▶  (完了)

番号通知お願いサービス

電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。

1 待受画面で  ▶ **【設定】** ▶ **【ネットワークサービス】**

2 **【番号通知お願いサービス】** ▶ **【開始】**／**【停止】**

迷惑電話ストップサービス

いたすら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- ・ 着信拒否登録した電話番号からの着信時は、着信音は鳴らず着信履歴にも記録されません。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]** ▶ **[迷惑電話ストップサービス]**

2 **[迷惑電話番号追加]** ▶ **[電話番号入力]** / **[電話帳から登録]** ▶ 以降、画面の指示に従って設定

迷惑電話ストップサービスのメニュー項目

迷惑電話番号追加	着信を拒否する電話番号を登録します。
登録済み電話番号	登録済みの電話番号の件数が表示されます。
最新通話（着信）を登録	最新の通話または着信の相手を登録します。
登録番号全件削除	登録済みの番号をすべて削除します。
最古登録番号削除	登録されている電話番号のうち、最も古いものを削除します。
最新登録番号削除	登録されている電話番号のうち、最も新しいものを削除します。

通話中着信設定

通話中にかかってきた別の電話の接続方法を設定します。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]**

2 **[通話中着信設定]** ▶ **[開始]** / **[停止]**

着信通知サービス

電源オフ時や圏外時などの着信の情報をSMSでお知らせします。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]**

2 **[着信通知サービス]** ▶ **[全着信]** / **[発番号あり]** / **[停止]**

- ・ 全着信：すべての着信を通知します。
- ・ 発番号あり：発信者番号が通知された着信のみ通知されます。
- ・ 停止：着信通知を行いません。

英語ガイダンス

各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]**

2 **[英語ガイダンス]** ▶ **[発信時]** / **[着信時]** ▶ 画面の指示に従って設定

- ・ 発信時：発信時のガイダンスを設定します。
「日本語」「英語」から設定できます。
- ・ 着信時：着信時のガイダンスを設定します。
「日本語」「日本語+英語」「英語+日本語」から設定できます。

遠隔操作

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]**

2 **[遠隔操作]** ▶ **[遠隔操作]** ▶ **[開始]** / **[停止]**

- **[遠隔操作]** ▶ **[設定]** を押し、音声ガイダンスに従って操作して設定することもできます。

公共モード

電源オフの場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電話に出られない旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]**

2 **[公共モード]** ▶ **[設定する]** / **[解除する]**

SMS受信拒否

SMSの受信を拒否するかどうかを設定します。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]** ▶ **[SMS受信拒否]**

2 **[国際SMS国内他事..]** / **[非通知SMS国際S..]** / **[SMS拒否設定解除]** ▶  (**完了**)

- **国際SMS国内他事..** (国際SMS国内他事業者SMS拒否) : 海外事業者およびドコモ以外の事業者からのSMSを拒否します。
- **非通知SMS国際S..** (非通知SMS国際SMS国内他事業者SMS拒否) : 非通知、海外事業者およびドコモ以外の事業者からのSMSを拒否します。
- **SMS拒否設定解除** : SMSの拒否設定を解除します。

プライバシー設定

電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを選択できます。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[ネットワークサービス]**

2 **[プライバシー設定]** ▶ **[On]** / **[Off]**

- **On** : 相手の電話機に自分の電話番号が表示されなくなります。
- **Off** : 「発信者番号通知」 (→P.59) の設定に従った動作となります。

リセット

衛星端末を工場出荷状態に戻します。

衛星端末を初期化（リセット）するには、ハンドセットから設定メニューを操作する方法、衛星端末のRESETボタンを利用する方法、衛星端末に接続したパソコンなどから衛星電話管理ツールを利用する方法の3通りがあります。

ここでは、ハンドセットから設定メニューを操作する方法と、衛星端末のRESETボタンを利用する方法について説明します。

- 衛星電話管理ツールでの初期化（リセット）について詳しくは、「衛星電話の初期化」（→P.91）をご覧ください。

お知らせ

- 衛星端末を初期化（リセット）すると、SMSの受信BOXは工場出荷状態に戻ります。
- 初期化（リセット）中は、電源を切ったり、電池パックやACアダプタを取り外したりしないようご注意ください。

ハンドセットの設定メニューから衛星端末を初期化（リセット）する

- 1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[リセット]**
- 2 **[本体]** ▶ **本体認証コードを入力** ▶  (はい)
- 3 **初期設定(→P.33)を行う**

お知らせ

- 上記の操作2で「設定リセット」／「電話帳一括削除」／「全データー一括削除」を選択すると、以下の内容を初期化できます。その場合は、暗証番号（ハンドセットPIN）の入力が必要となります。
 - －「設定リセット」：ハンドセットの設定
 - －「電話帳一括削除」：ハンドセット内に保存されている電話帳データ
 - －「全データー一括削除」：ハンドセット内のすべてのデータ（設定、電話帳、SMS（未送信BOX／送信BOX内））

衛星端末のRESETボタンで初期化（リセット）する

- 1 **衛星端末の電源を入れる**
- 2 **電池パックカバーを取り外し、まっすぐに伸ばしたペーパークリップなどでRESETボタンを約10秒間押し続ける**

衛星端末が再起動すると初期化（リセット）が完了します。

GPS設定

GPS設定をONにすると、衛星端末の位置情報を取得し、デバイスログに保存されます。

また、AC電源に接続していない場合は、電池の消費量がふえて、使用時間が短くなることがあります。

- 最新の位置情報は、待受画面で  () を押して表示される端末情報画面の「GPS位置座標」欄で確認できます。
- 衛星端末内に保存した位置情報は衛星電話管理ツールから参照することもできます。→P.86

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[GPS設定]**

2 **[On]** / **[Off]** ▶  (**完了**)

デバイスログ送信

衛星端末のシステムログやアラームログを送信します。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[デバイスログ送信]**

2  (**送信**)

お知らせ

- 本設定はドコモ保守者の指示に従って操作してください。なお、送信するデータにはGPS情報が含まれる場合があります。
- デバイスログの送信に失敗した場合は、ドコモ保守者にお伝えください。後続の指示があった場合はそれに従い衛星端末を操作してください。

PINコード設定

電源を入れたときに暗証番号（ハンドセットPIN）の入力が必要になるかどうかを設定します。また、暗証番号（ハンドセットPIN）を変更することもできます。

- お買い上げ時の暗証番号（ハンドセットPIN）は「0000」に設定されています。

暗証番号（ハンドセットPIN）の入力が必要になるように設定する

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[PINコード設定]**

2 **[暗証番号入力]** ▶ **[On]** ▶ **暗証番号を入力** ▶  (**完了**)

暗証番号（ハンドセットPIN）を変更する

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[PINコード設定]**

2 **[暗証番号変更]** ▶ **現在の暗証番号を入力** ▶ **新しい暗証番号を入力** ▶  (**完了**)

通話時間・通信量

通話時間やデータ通信量を表示します。

- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の時間とは異なる場合があります。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [通話時間・通信量]

2 各項目を確認

- 総通話時間：通話時間の合計を表示します。
- 最新通話時間：最後に通話した時間を表示します。
- 総データ通信量：データ通信量の合計を表示します。
- 最新データ通信量：最後にデータ通信を行ったAPNの接続中に通信したデータ通信量を表示します。

お知らせ

- 各項目を選択し、必要に応じて本体認証コードを入力 ▶  (はい) を押すと、通話時間やデータ通信量がリセットされます。

本体認証コード変更

本体認証コードを変更します。

- お買い上げ時の本体認証コードは「0000」に設定されています。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [本体認証コード変更]

2 現在の本体認証コードを入力 ▶ (決定) ▶ 新しい本体認証コードを入力 ▶ (完了)

サービス制限

電話の発着信やSMSの送受信を制限します。

- 2台以上のハンドセットを接続される場合は、ハンドセットごとに設定してください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [サービス制限]

2 本体認証コードを入力 ▶ (決定)

3 各項目を選択 ▶ [On] / [Off]

- 着信制限：電話の着信を制限します。
- 発信制限：電話の発信を制限します。
- SMS着信制限：SMSの受信を制限します。→P.53
- SMS発信制限：SMSの送信を制限します。→P.53

PINコード変更

nanoSIMカードに設定したPINコードを変更します。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなりますのでご注意ください。その場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除する必要があります。
→P.34

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[PINコード変更]**

2 現在のPINコードを入力 ▶  (完了) ▶ 新しいPINコードを入力 ▶  (完了) ▶ 新しいPINコードを再度入力 ▶ **[完了]**

アナログ電話機設定

衛星端末にアナログ電話機を接続して使用する場合に、発信者の番号を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[アナログ電話機設定]**

2 **[発信者番号表示]** ▶ **[TEL]** ▶ **[On]**／**[Off]**

他の機器と接続する

電話機／FAXと衛星端末を接続する

衛星端末にアナログ電話機またはFAX機を接続して、通常の電話機やFAXと同様に使用することができます。

必要な機器

- モジュラーケーブル（市販品）
- アナログ電話機（市販品）
- G3 FAX機（市販品）※

※すべてのG3 FAX機でのご利用を保証するものではありません。

お知らせ

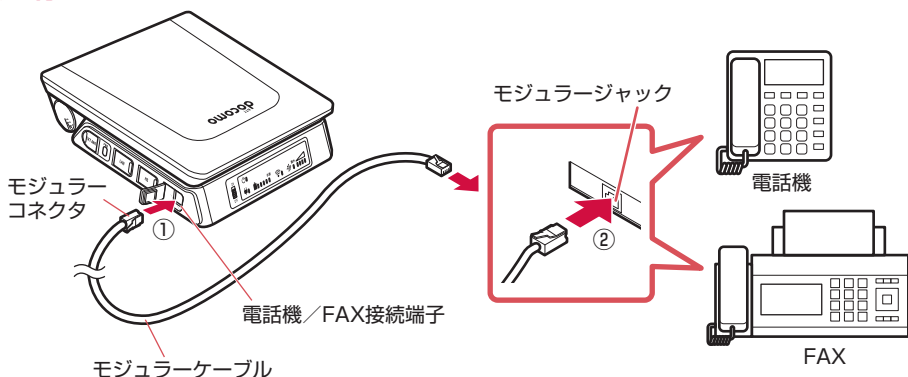
- ワイドスターIIIサービスは固定電話回線と同じ方式でFAXを送受信しますが、固定回線と比較すると遅延が大きいなど、特殊な条件での通信となります。このため通信状況や接続する機器、通信相手の環境等によっては、正常に送受信できない場合があります。
- ECM（Error Correction Mode）機能を利用できる機器を推奨します。送信側FAX機、受信側FAX機双方にECM対応機器を利用することで、ECMの誤り訂正によってより安定したFAX送受信が期待できます。

電話機／FAXと衛星端末の取り付けかた

モジュラーケーブル（市販品）を使用して、アナログ電話機またはG3 FAX機と衛星端末を取り付ける方法について説明します。

- 使用する全ての機器の電源を切ってから取り付け／取り外してください。

取り付けかた



1 衛星端末の電話機／FAX接続端子カバーを開き、モジュラーケーブル(市販品)の向きを確認して、電話機／FAX接続端子へ水平に差し込む(①)

- モジュラーケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、衛星端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 モジュラーケーブルの向きを確認して、電話機／FAXのモジュラージャックへ水平に差し込む(②)

取り外しかた

1 衛星端末側のモジュラーケーブルのプラグのツメを押さながら引き抜き、電話機／FAX接続端子カバーを閉じる

2 電話機／FAX側のモジュラーケーブルのプラグのツメを押さながら引き抜く

お知らせ

- 取り外すときは、必ずモジュラーケーブルのプラグのツメを押さながら引き抜いてください。
- 無理やり差し込んだり抜いたりすると、プラグが破損あるいは故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 電話機またはG3 FAX機は1台のみ接続可能です。

スマートフォンなどの機器と衛星端末を無線LAN（Wi-Fi）で接続する

衛星端末に内蔵された無線LAN（Wi-Fi）を使用して、スマートフォンなどの機器と衛星端末を接続する方法について説明します。

- 衛星端末に内蔵された無線LAN（Wi-Fi）を利用する際は、「無線LAN（WLAN）についてのお願い」（→P.14）もあわせてご確認ください。

接続のしかた

1 衛星端末のLEDパネルで、無線LAN（Wi-Fi）ランプが青色に点灯していることを確認する

2 スマートフォンなどの接続機器のWi-Fi設定メニューを開き、本機のSSID（接続名）を選択する

- 衛星端末のお買い上げ時のSSID（接続名）は「ssid+衛星端末のIMEIの下7桁」です。（例：ssid1234567）
- 衛星端末のIMEIは製品ごとに異なります。本体裏面の銘板シールに表示されている15桁の数字です。
- 数分間待ってもSSID（接続名）が表示されない場合は、衛星端末を再起動してください。

3 パスワードを入力する

- お買い上げ時のパスワードは「password+衛星端末のIMEIの下7桁」です。（例：password1234567）
- 接続機器の画面で、正しく接続されていることを確認してください。

お知らせ

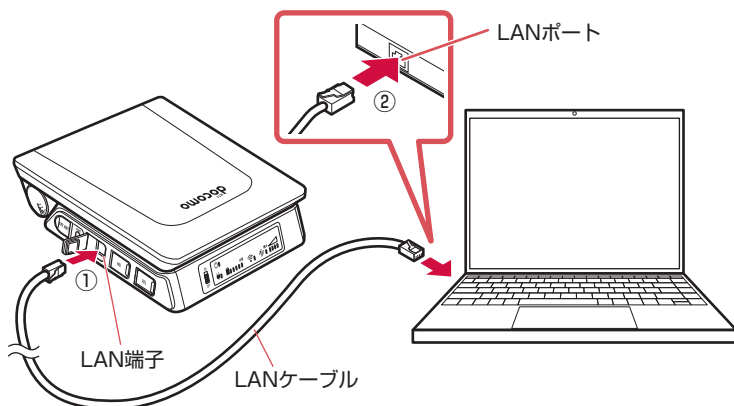
- 衛星端末に無線LAN（Wi-Fi）接続したスマートフォンなどの機器からデータ通信を行うには、APNへの接続が必要です。→P.72
- SSID（接続名）やパスワードは、衛星電話管理ツールを利用して変更することができます。→P.85
- 無線LAN（Wi-Fi）機能を利用して同時に接続可能な機器は8台です。
- 有線LAN機能を利用して同時に接続可能な機器は11台です。
- 衛星端末に搭載されている無線LAN機能（Wi-Fi）は周囲の気象レーダー等との電波干渉を避ける機能を備えています。（DFS機能）
本機能により、衛星端末を起動後もしくは無線LAN機能（Wi-Fi）をご利用中に電波干渉を検知した際に約1分間、Wi-Fiの電波を停止し電波干渉が無いかを確認いたします。この間はWi-Fi通信はできず、ご利用機器ではSSIDを表示・選択することができません。
- 無線LAN（Wi-Fi）機器を衛星端末に接続して利用する際は、ブリッジモードやアクセスポイントモードに設定の上、ルーター機能はOFFにしてください。
- 衛星端末およびアンテナ他周辺機器近傍で接続機器の無線LAN（Wi-Fi）機能を使用する際は、5GHz帯をご使用ください。2.4GHz帯を使用すると衛星との通信に悪影響を及ぼす原因となります。
- 無線LAN（Wi-Fi）機器を衛星端末と接続する前に、接続機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 接続機器によって生じた故障や損失につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パソコンと衛星端末を有線LANで接続する

LANケーブル（市販品）を使用してパソコンと衛星端末を取り付ける方法について説明します。

- データ通信中にLANケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。
- 使用する全ての機器の電源を切ってから取り付け／取り外してください。

取り付けかた



1 衛星端末のLAN端子カバーを開き、LANケーブル(市販品)の向きを確認して、LAN端子へ水平に差し込む(①)

- LANケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、衛星端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 LANケーブルの向きを確認して、パソコンのLANポートへ水平に差し込む(②)

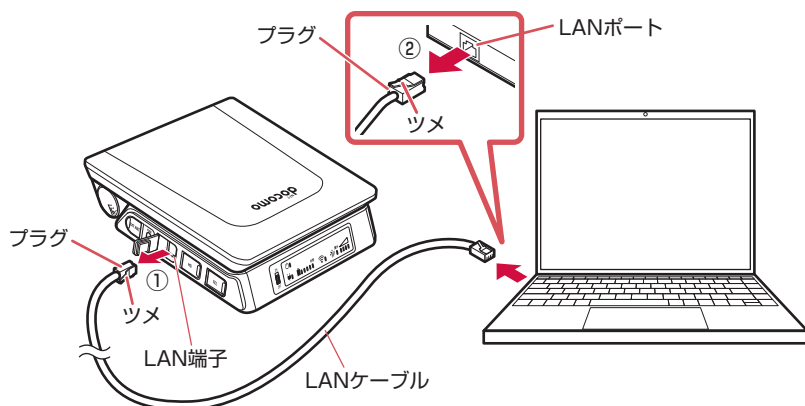
- LANケーブルの向き（裏表）をよく確かめ、パソコンに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 衛星端末とパソコンの電源を入れる

お知らせ

- 衛星端末に接続したパソコンからデータ通信を行うには、APNへの接続が必要です。→P.72
- 無線LAN（Wi-Fi）機能を利用して同時に接続可能な機器は8台です。
- 有線LAN機能を利用して同時に接続可能な機器は11台です。

取り外しかた



1 衛星端末側のLANケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜き、LAN端子カバーを閉じる(①)

2 パソコン側のLANケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜く(②)

お知らせ

- 取り外すときは、必ずLANケーブルのプラグのツメを押さえながら引き抜いてください。
- 無理やり差し込んだり抜いたりすると、プラグが破損あるいは故障する場合がありますので、ご注意ください。

データ通信を利用する

衛星端末から利用できるデータ通信について

衛星端末とパソコンなどの接続機器をLANケーブル（市販品）または無線LAN（Wi-Fi）で接続して、各種設定を行うとデータ通信を利用できます。

お知らせ

- 衛星端末に接続したパソコンなどの機器のブラウザから、衛星電話管理ツールを利用して、衛星端末の状態の確認や、インターネット接続／各種暗証番号などの設定ができます。→P.73

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンなどの機器の動作環境は、次のとおりです。機器のシステム構成により異なる場合があります。

■ 対応機器

IEEE802.11nの無線LAN（Wi-Fi）規格に対応するWindowsパソコン、またはiOS／Android搭載のスマートフォンなどの機器（IPv6をご利用の場合、アドレス割り当て方式が「RA+ステートフルDHCPv6（RFC3315準拠）」に対応している機器）

LANポートを備えたWindowsパソコン、またはiOS／Android搭載のスマートフォンなどの機器

■ 対応OS

パソコン：Windows 10、11

スマートフォン：iOS、Android

■ 対応ブラウザ（衛星電話管理ツール対応）

Microsoft Edge

Safari

Chrome

※2023年8月以降のブラウザをご利用ください。

お知らせ

- 動作環境の最新情報については、ドコモの法人向けホームページのサポートサイト（<https://support.ntt.com>）にてご確認ください。
- OS をアップグレードした場合の動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用にならない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データ通信に必要な機器

衛星端末以外に、次の機器が必要です。

- LANケーブル（市販品）

- パソコンなどの接続機器（市販品）※

※無線LAN（Wi-Fi）で接続する場合は、無線LAN（Wi-Fi）機能搭載の接続機器または無線LAN（Wi-Fi）アダプター（市販品）をご用意ください。

ご利用時の注意事項

データ通信をご利用になる前に、ワイドスターサービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容をご確認ください。

インターネットサービスプロバイダの利用

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダのお申し込みおよび利用料が必要です。この利用料は、ワイドスターサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。
- mopera Uをご利用の場合は、ワイドスターサービスの利用料とあわせてのご請求となります。

接続先(プロバイダなど)

データ通信を行うときはパケット通信対応の接続先をご利用ください。

- mopera Uのサービス内容・接続設定方法については、mopera Uのホームページをご覧ください。
<http://www.mopera.net/>

データ通信の条件

通信を行うには、次の条件が必要です。

- ワイドスターサービスエリア内であること
- アクセスポイントがパケット通信に対応していること

※上記の条件が整っていても、ネットワークが混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ通信と音声電話を使用する場合

- 設置環境や通信状況によっては、データ通信中に音声電話を利用したときにデータ通信が切断されたり、音声電話中にデータ通信ができない場合があります。
- データ通信を利用する場合、意図しない通信（接続した機器のバックグラウンド通信やインターネットからの通信など）で通信料が高額になる可能性がありますのでご注意ください。

DHCPサーバー機能について

- 本端末はDHCPサーバー機能を有しております。
- DHCPサーバー機能を無効に切り替えることはできません。
- 任意のIPアドレスを用いてネットワーク機器（パソコンなど）と接続する場合には、ネットワーク機器側で設定する必要があります。

パソコンのファイアウォール設定について

「自動接続」がオンに設定されているAPNを利用しているときにデータ通信が切断される場合は、「故障かな?と思ったら」の「ファイアウォール設定について」(→P.105)をご覧ください。

APNに接続する／APNから切断する

衛星端末に接続したパソコンなどの機器からデータ通信を行うには、あらかじめAPNへの接続が必要です。ここでは、衛星端末にAPNとして「mopera U」が登録されている場合を例にして説明します。APNの追加や編集について詳しくは、「APN設定」(→P.75)をご覧ください。

お知らせ

- 衛星端末との接続ができず、衛星電話管理ツールにアクセスできない場合は、「故障かな？と思ったら」の「接続」(→P.104)をご覧ください。
- APNに同時に接続可能な機器は5台です。
- パソコンなどの機器から複数台同時にAPNに接続／APNから切断をしたい場合は、機器ごとに操作が必要となります。

1 パソコンなどの機器でブラウザを起動する

2 URL入力欄に「http://192.168.0.1」を入力する

- 衛星電話管理ツールのログイン画面が表示されます。

3 ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする

- APNの設定については「APN設定」(→P.75)をご覧ください。
- 入力するユーザー名とパスワードは「ユーザー管理」(→P.86)で登録したものを使ってログインしてください。
- 正しいユーザー名やパスワードが不明の場合は、管理者にご確認ください。



4 APNの一覧から「mopera U」を選択▶「接続」をクリック



- 「接続」が「切断」に変わったら接続完了です。

5 パソコンなどの機器でデータ通信ができることを確認する

6 データ通信を切断するには「切断」をクリック



衛星電話管理ツール

衛星端末に接続したパソコンなどの機器のブラウザから、「ワイドスターIII 衛星電話管理ツール」を利用して、衛星端末の状態の確認や、インターネット接続／各種暗証番号などの設定ができます。

衛星電話管理ツールにログインする

- 1 パソコンなどの機器でブラウザを起動する
- 2 URL入力欄に「<http://192.168.0.1/setting>」を入力する
 - ・衛星電話管理ツールのログイン画面が表示されます。
- 3 ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする
 - ・お買い上げ時のユーザー名は「admin」です。
 - ・お買い上げ時のパスワードは「admin1234」です。
 - ・正しいユーザー名やパスワードが不明の場合は、管理者にご確認ください。



4 カテゴリタブやメニューから項目を選択し、設定／確認



お知らせ

- セキュリティの確保のため、お買い上げ時のパスワードは変更してお使いになることをおすすめします。→P.86
- ユーザー名やパスワードは定期的に変更することをおすすめします。
- 衛星電話管理ツールのご利用は2023年8月以降のブラウザが対象です。→P.70

衛星電話管理ツール画面の見かた

「ステータス」カテゴリが選択された画面で説明します。

- パソコンでの表示を例としています。



① メニュー

- 各カテゴリ内のメニューが表示されます。クリックすると各メニューが表示されます。

② カテゴリタブ

- クリックすると各カテゴリの画面に切り替わります。
 - セットアップ →P.75
 - サービス →P.85
 - ツール →P.87
 - ステータス →P.88
 - システム →P.90

③ ヘルプ

- 表示されている画面に関するヘルプが表示されます。

④ ユーザー名

- ログインしているユーザー名が表示されます。
クリックして [ログアウト] ▶ [OK] と操作すると、衛星電話管理ツールからログアウトします。

セットアップ

カテゴリタブから「セットアップ」をクリックすると表示されます。
IPアドレスやファイアウォール、本体認証コードなどの設定ができます。



ログイン管理

SMSを全件削除する際に正しい本体認証コードの入力を必要とするかどうかを設定します。

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [1. ログイン管理]メニュー

3 [変更] ▶ ☐ をクリックして ☒ にする ▶ [保存] ▶ [OK]

APN設定

プロバイダに接続するAPN（アクセスポイントネーム）を設定し、各プロファイルの内容の表示や新規作成・編集・削除をします。

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [2. APN設定]メニュー

プロファイルの一覧が表示されます。

プロファイルの詳細を確認する

プロファイルの情報を確認するには、[表示] をクリックします。
編集する場合は [編集] ▶ 各項目を設定 ▶ [適用] をクリックします。

項目	説明	設定範囲	初期値
プロファイル名	プロファイル名を設定します。	—	—
APN	APNを設定します。	—	—
IPタイプ	IPタイプを設定します。	IPv4、IPv6	IPv4
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	—	—
パスワード	パスワードを設定します。	—	—
認証方式	認証方式を設定します。	None、PAP、CHAP	None
自動接続	APNに自動的に接続するかどうかを設定します。	有効、無効	無効

自動接続を有効にする

ワイドスターIII 衛星端末に接続したパソコンもしくはスマートフォンでデータ通信を行う際、通常は手で接続操作（→P.72）をしますが、この接続操作を自動で行う機能です。

- 自動接続を有効にした場合、意図しない通信などで通信料が高額になる可能性がありますのでご注意ください。

1 自動接続にしたいAPNプロフィールを選択し、「自動接続」を有効にする

2 「APNに接続する／APNから切断する」(→P.72)に従って操作し、利用したいパソコンなどの機器からAPNに接続する

- 以降、上記の接続操作をしたパソコンなどの機器は、衛星端末の電源を切っても、再度衛星端末の電源が入ると自動的にAPNに接続できるようになります。
- パソコンなどの機器から複数台同時にAPNに接続／APNから切断をしたい場合は、機器ごとに操作が必要となります。

お知らせ

- 「自動接続」がオンに設定されているAPNを利用するパソコンなどの機器について、衛星端末の起動後に衛星回線の切断や再接続が発生した場合や、パソコンなどの機器が一定期間通信に 응답しない場合に、自動接続の対象から削除されることがあります。
その場合、衛星端末の再起動では自動接続されませんのでご注意ください。再度接続操作を行っていただく必要があります。
- 衛星端末とパソコンなどの機器が通信できない場合は、「故障かな？と思ったら」の「ファイアウォール設定について」(→P.105)をご覧ください。
- 「自動接続」がオンに設定されているAPNを利用してパソコンなどの機器を接続している場合、「自動接続」をオフにするとそのAPNに接続している機器のデータ通信はすべて切断されます。

ユーザーの接続許可を設定する

プロフィールへのユーザーの接続許可を設定するには、[ユーザー設定] をクリックし、「ユーザーリスト」から許可するユーザー（→P.86）を選択して [>] ▶ [保存] をクリックします。

プロフィールを追加する

[追加] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] をクリックします。

IPアドレス設定

LAN端子やハンドセット接続端子、無線LAN（Wi-Fi）のIPアドレスなどを設定できます。

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [3. IPアドレス設定]メニュー

LAN端子を設定する

3 [変更] ▶ 「(1) LANポート」の各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

- 設定が完了すると衛星端末が再起動し、衛星電話管理ツールのログイン画面が表示されます。

項目	説明	設定範囲※	初期値
IPv4アドレス	IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.0.1
サブネットマスク	IPv4アドレスのサブネットマスクを設定します。	—	255.255.255.0
IPv6アドレス	IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:1:c0c0::1
サブネットマスク	IPv6アドレスのサブネットマスクを設定します。	47～128	64
開始DHCP IPv4アドレス	開始DHCP IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.0.50
終了DHCP IPv4アドレス	終了DHCP IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.0.60
開始DHCP IPv6アドレス	開始DHCP IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:1:c0c0::20
終了DHCP IPv6アドレス	終了DHCP IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:1:c0c0::2a

※IPv4アドレスおよびIPv6アドレスについては、IPv4／IPv6のフォーマットに則り、お客様のネットワーク環境に合わせた値を入力してください。

ハンドセット接続端子を設定する

3 [変更] ▶ 「(2) HSポート」の各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

- 設定が完了すると衛星端末が再起動し、衛星電話管理ツールのログイン画面が表示されます。

項目	説明	設定範囲※	初期値
IPv4アドレス	IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.1.1
サブネットマスク	IPv4アドレスのサブネットマスクを設定します。	—	255.255.255.0
IPv6アドレス	IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:2:c0c0::2
サブネットマスク	IPv6アドレスのサブネットマスクを設定します。	47～128	64
開始DHCP IPv4アドレス	開始DHCP IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.1.50
終了DHCP IPv4アドレス	終了DHCP IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.1.60
開始DHCP IPv6アドレス	開始DHCP IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:2:c0c0::20
終了DHCP IPv6アドレス	終了DHCP IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:2:c0c0::2a

※IPv4アドレスおよびIPv6アドレスについては、IPv4／IPv6のフォーマットに則り、お客様のネットワーク環境に合わせた値を入力してください。

無線LAN (Wi-Fi) を設定する

3 【変更】▶「(3)Wi-Fi」の各項目を設定▶【保存】▶【OK】

- 設定が完了すると衛星端末が再起動し、衛星電話管理ツールのログイン画面が表示されます。

項目	説明	設定範囲※	初期値
IPv4アドレス	IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.2.1
サブネットマスク	IPv4アドレスのサブネットマスクを設定します。	—	255.255.255.0
IPv6アドレス	IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:3:c0c0::3
サブネットマスク	IPv6アドレスのサブネットマスクを設定します。	47~128	64
開始DHCP IPv4 アドレス	開始DHCP IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.2.50
終了DHCP IPv4 アドレス	終了DHCP IPv4アドレスを設定します。	—	192.168.2.60
開始DHCP IPv6 アドレス	開始DHCP IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:3:c0c0::20
終了DHCP IPv6 アドレス	終了DHCP IPv6アドレスを設定します。	—	fd5a:5000:0:3:c0c0::2a

※IPv4アドレスおよびIPv6アドレスについては、IPv4/IPv6のフォーマットに則り、お客様のネットワーク環境に合わせた値を入力してください。

DHCPリース期間を設定する

3 【変更】▶「(4)DHCPリース時間」の各項目を設定▶【保存】▶【OK】

項目	説明	設定範囲	初期値
DHCPリース時間	DHCPリース時間を設定します。	12~72	12

ハンドセット登録

登録済みのハンドセットの情報を確認できます。ハンドセットの名前を変更したり、電話の発信やSMSの受信を許可するかどうかを設定することもできます。

ハンドセットの設定を編集する

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [4. ハンドセット登録]メニュー

登録済みのハンドセットの名前とMACアドレスが表示されます。

3 [編集] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

項目	説明	設定範囲	初期値
ハンドセット名	ハンドセットの名前を設定します。	—	—
音声発信	電話の発信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
SMS送信	SMSの送信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
音声着信	電話の着信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
SMS受信	SMSの受信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効

ハンドセットの設定を削除する

1 ハンドセットの設定を初期化(リセット)する(→P.62)

- ・ハンドセットの設定メニューの「リセット」から「設定リセット」を選択すると、ハンドセット内の設定を消去できます。

2 ハンドセットが再起動した後、ハンドセットPINと本体認証コードを入力せずにそのままハンドセットの電源を切る

3 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

4 [4. ハンドセット登録]メニュー

5 削除したいハンドセットの[削除] ▶ [OK]

お知らせ

- 衛星端末に保存されたハンドセットの設定は、ハンドセットを衛星端末に接続した状態では削除できません。設定の削除は、ハンドセットの電源を切るか、衛星端末からハンドセットを取り外してから行ってください。
- ハンドセットの設定を初期化(リセット)しない場合も衛星端末のハンドセットの登録を削除することができますが、当該のハンドセットを再び接続すると本体認証コードを入力せずに利用することができます。衛星端末からハンドセットの登録を完全に削除するには、ハンドセットの初期化(リセット)および衛星電話管理ツールで当該のハンドセットの登録の削除、両方の操作を行う必要があります。

SIMカード設定

nanoSIMカードのPINコード認証を設定します。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなりますのでご注意ください。その場合は、「PINロック解除コード (PUK)」でロックを解除する必要があります。
→P.34

PINコード認証を有効にする

- 1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ
- 2 [5. SIMカード設定]メニュー
- 3 [PIN1コード認証の変更]
- 4 「PIN1コード認証の設定」の  をクリックして  にする ▶ PINコードを入力 ▶ [保存]

PINコードを変更する

あらかじめ「PIN1コード認証の設定」を有効にしておいてください。

- 1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ
- 2 [5. SIMカード設定]メニュー
- 3 [PIN1コードの変更]
- 4 現在のPINコードを入力 ▶ 新しいPINコードを入力 ▶ 確認のため、再度新しいPINコードを入力 ▶ [保存]

ファイアウォール設定

WAN側（外部）へのアクセスを制限する機能です。LAN側からのアクセスに対してファイアウォールのルールを設定します。

■ ファイアウォール設定の例

例えば、特定のHTTPサイトへのHTTPアクセス（ポート80）のみ許可する場合、そのHTTPサイトのIPアドレスが「xxx.xxx.xxx.xxx」であれば、以下のように設定します。

※DNSプロキシ（衛星端末のLANポートIPアドレス）宛のDNSパケットは抑止できません。

The screenshot shows the '6. ファイアウォール設定' (6. Firewall Settings) screen. At the top, there is a toggle switch 'ファイアウォールを有効にする' (Enable Firewall) which is turned on. Below it is a table of rules. The table has columns for '送信元' (Source), '送信先' (Destination), '送信先ポート範囲' (Destination Port Range), 'プロトコル' (Protocol), and 'アクション' (Action). Rule 1 is blocked (拒否), Rule 2 is blocked (拒否), and Rule 3 is allowed (許可). Rule 3 is highlighted with a red box.

送信元	送信先	送信先ポート範囲	プロトコル	アクション
Start: 0.0.0.0 終了IPアドレス: 255.255.255.255	Start: 0.0.0.0 終了IPアドレス: 255.255.255.255	変換ポート番号の範囲 0 ~ 65535	プロトコル TCP	拒否
Start: 0.0.0.0 終了IPアドレス: 255.255.255.255	Start: 0.0.0.0 終了IPアドレス: 255.255.255.255	変換ポート番号の範囲 0 ~ 65535	プロトコル UDP	拒否
Start: 0.0.0.0 終了IPアドレス: 255.255.255.255	Start: xxx.xxx.xxx.xxx 終了IPアドレス: xxx.xxx.xxx.xxx	変換ポート番号の範囲 80	プロトコル TCP	許可

●No.1：拒否設定

TCPのすべてのIPアドレスおよびポート番号0～65535までのポートを指定

●No.2：拒否設定

UDPのすべてのIPアドレスおよびポート番号0～65535までのポートを指定

●No.3：許可設定

TCPのWebサイトのHTTPサーバーを指定

ファイアウォール設定で許可したパケット通信以外は自動で抑止しませんので、上図のように抑止したい通信の拒否設定は許可設定より小さい番号のルールに設定してください。

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [6. ファイアウォール設定]メニュー

3 [変更] ▶「ファイアウォールを有効にする」の をクリックして にする ▶ [保存] ▶ [OK]

4 [追加] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

項目	説明	設定範囲※	初期値
IPタイプ	IPタイプを設定します。	IPv4、IPv6	IPv4
開始送信元IPアドレス	開始送信元IPアドレスを設定します。	—	—
終了送信元IPアドレス	終了送信元IPアドレスを設定します。	—	—
開始送信先IPアドレス	開始送信先IPアドレスを設定します。	—	—
終了送信先IPアドレス	終了送信先IPアドレスを設定します。	—	—
送信先ポート範囲	送信先ポート範囲を設定します。	1～65535	—
プロトコル	プロトコルを設定します。	TCP、UDP	TCP
オプション	ファイアウォール設定が許可／拒否のどちらで動作するかを設定します。	許可、拒否	許可

※IPv4アドレスおよびIPv6アドレスについては、IPv4／IPv6のフォーマットに則り、お客様のネットワーク環境に合わせた値を入力してください。

お知らせ

- DNS問い合わせのパケット（ポート番号53）は衛星端末のファイアウォール設定では抑止できません（初期設定では192.168.0.1宛でのDNS問い合わせパケットが該当します）。
- 衛星端末のファイアウォール設定において、許可ルールを設定しただけでは許可したパケット通信以外を自動で抑止しません。抑止したいパケット通信については別途拒否ルールを設定してください。
- 保存したファイアウォール設定を後から変更することはできません。
設定を変更する場合は、保存した設定を一度削除してから、再度各項目を設定してください。
- ファイアウォールのルールは最大20件設定できます。
- 番号が大きい方（下段）のルールが優先されます。
- TCP、UDP以外のプロトコルは、ファイアウォールの対象外となります。
- 「ファイアウォールを有効にする」が  になっている場合、またはすべてのルールに当てはまらない場合はWAN側（外部）へのアクセスは制限されません。
- ファイアウォール設定の機能は、すべてのパケット通信を抑止するものではありません。そのため、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ファイアウォール設定の機能は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ここに記載している内容は、Jupiter-MSE-MST.4.1180.E以降のソフトウェアバージョンのものです。

ポート転送設定

WAN側（外部）からの特定のポートへのアクセスをLAN側の特定のIPアドレスに転送するためのルールを設定します。

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [7. ポート転送設定]メニュー

3 [追加] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存]

項目	説明	設定範囲	初期値
APN	APNを設定します。	—	—
プロトコル	プロトコルを設定します。	TCP、UDP	TCP
開始ポート番号	開始ポート番号を設定します。	1～65535	—
終了ポート番号	終了ポート番号を設定します。	1～65535	—
IPタイプ	IPタイプを設定します。	IPv4、IPv6	IPv4
転送先IPアドレス	転送先IPアドレスを設定します。	—	—

お知らせ

- 保存したポート転送設定を後から変更することはできません。
設定を変更する場合は、保存した設定を一度削除してから、再度各項目を設定してください。
- ポート転送設定は最大20件設定できます。

MACアドレスフィルタ

MACアドレスによる接続許可／拒否を設定します。

- MACアドレスの設定を誤ると衛星端末に接続できなくなります。設定に誤りがないか十分にご注意ください。万が一、設定を誤った場合は端末を初期化（リセット）してください。→P.62

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [8. MACアドレスフィルタ]メニュー

3 [変更] ▶ [無効]／[許可リスト]／[拒否リスト]にチェックを入れる ▶ [保存] ▶ [OK]

4 [追加] ▶ MACアドレスを入力 ▶ [保存]

- 設定されたMACアドレスが一覧で表示されます。
- MACアドレスを削除するには、[削除] ▶ [OK] をクリックします。

アナログ電話機設定

アナログ電話機やG3 FAX機との接続に関する設定をします。

1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ

2 [9. アナログ電話機設定]メニュー

3 [変更] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

項目		説明	設定範囲	初期値
(1) POTS着信通知	着信通知の有効／無効	着信通知の有効／無効を設定します。	有効、無効	有効
(2) 着信音設定	音声ポート	着信音の周波数を設定します。	16.6Hz、20Hz	16.6Hz
	FAXポート		16.6Hz、20Hz	16.6Hz
(3) オーディオ設定	エコーキャンセラー※	エコーを抑えます。	有効、無効	有効
	ノイズサブレッサー※	周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にします。	有効、無効	有効
(4) 通話音量レベル		通話の音量を設定します。	1～10	7
(5) 発信者番号表示	TEL	着信時の発信者番号表示の有効／無効を設定します。 (本機能を使用するには発信者番号表示に対応したアナログ電話機が必要です)	有効、無効	無効

※本設定はアナログ電話機またはFAXを接続した場合が対象です。ハンドセットの設定は「ノイズキャンセラ設定」「エコーキャンセラ設定」をご参照ください。→P.45

日付と時刻

日付と時刻は、通常はネットワークからの情報を受信して自動的に設定されます。手動で設定する場合は、以下の操作を行います。

- 1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ
- 2 [10. 日付と時刻]メニュー
- 3 [変更] ▶ 「時計更新モード」の「手動」にチェックを入れる
- 4 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

項目	説明	設定範囲	初期値
時計更新モード	日付と時刻の更新モードを設定します。	自動、手動	自動
日付	日付を設定します。 □をクリックするとカレンダーから日付を選択できます。	—	—
時刻	時刻を設定します。	—	—
時刻表示	時刻表示を12時間／24時間で切り替えます。	12時間表示、24時間表示	24時間表示

データ使用

データ通信の上限値や通信制限などを設定できます。

- 1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ
- 2 [11. データ使用]メニュー
- 3 [変更] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

項目	説明	設定範囲	初期値
データ使用制限	データ使用の上限値を設定します。	0B～50GB	—
データ通信制限通知	データ使用の上限値を超えた場合に、データ通信の制限を通知します。	有効、無効	無効
データ通信自動停止	データ使用の上限値を超えた場合に、データ通信を自動停止します。	有効、無効	無効
総データ使用量自動消去	毎月1日の00:00に、データ使用量の総計が自動的にクリアされます。	有効、無効	無効

お知らせ

- 表示されるデータ通信量はあくまで目安であり、実際のデータ通信量とは異なる場合があります。

本体認証コード更新

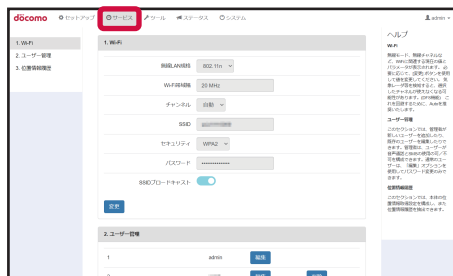
本体認証コードを変更できます。

- 1 衛星電話管理ツール画面で[セットアップ]タブ
- 2 [12. 本体認証コード更新]メニュー
- 3 [本体認証コード変更]
- 4 現在の本体認証コードを入力▶新しい本体認証コードを入力▶確認のため再度新しい本体認証コードを入力▶[保存]

サービス

カテゴリタブから「サービス」をクリックすると表示されます。

利用できるユーザーの追加や編集、位置情報の出力などの操作ができます。



Wi-Fi

無線LAN (Wi-Fi) の規格やチャンネル、SSIDやパスワードなどを設定します。

- 1 衛星電話管理ツール画面で[サービス]タブ
- 2 [1. Wi-Fi]メニュー
- 3 [変更]▶各項目を設定▶[保存]

項目	説明	設定範囲	初期値
無線LAN規格	無線LAN規格を設定します。	802.11n	802.11n
Wi-Fi帯域幅	Wi-Fi帯域幅を設定します。	20 MHz	20 MHz
チャンネル	使用するチャンネルを設定します。	自動、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140	自動
SSID	SSIDを設定します。	1～32文字の半角英数字	ssidXXXXXXXX (XXXXXXXXはIMEIの下7桁)
セキュリティ	セキュリティを設定します。	None、WPA2	WPA2
パスワード	パスワードを設定します。	8～63文字の半角英数字	passwordXXXXXXXX (XXXXXXXXはIMEIの下7桁)
SSIDブロードキャスト	接続する機器からSSIDを認識できるように設定します。	有効、無効	有効

ユーザー管理

管理者（Admin）が新しいユーザー（User）を追加したり、既存のユーザーを編集することができます。

- AdminとUserの権限の違いについては、「衛星電話管理ツールのカテゴリタブ／メニュー一覧」（→P.94）をご覧ください。

1 衛星電話管理ツール画面で[サービス]タブ

2 [2. ユーザー管理]メニュー

ユーザーを追加する

3 [ユーザー追加] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [OK]

項目	説明	設定範囲	初期値
ユーザー名	ユーザーの名前を設定します。	4～32文字の半角英数字および記号（_ .）	—
パスワード	パスワードを設定します。	8～32文字の半角英数字および記号（! \$ % & * , . : ; ? @ - _ + = ^ `）	—
パスワードの確認	確認のため、「パスワード」欄と同じパスワードを入力します。	（上と同じ）	（上と同じ）
音声発信	電話の発信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
SMS送信	SMSの送信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
音声着信	電話の着信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効
SMS受信	SMSの受信を許可するかどうかを設定します。	有効、無効	有効

ユーザーを編集する

3 編集したいユーザーの[編集] ▶ 各項目を設定 ▶ [適用]

- 追加したユーザーを削除するには、ユーザーの [削除] ▶ [OK] をクリックします。

位置情報履歴

位置情報取得をONに設定すると、衛星端末の位置情報の履歴を衛星端末内に保存します。また位置情報の履歴を出力することもできます。

1 衛星電話管理ツール画面で[サービス]タブ

2 [3. 位置情報履歴]メニュー

位置情報を取得する

3 [変更] ▶ 「位置情報取得」の をクリックして にする ▶ [保存] ▶ [OK]

- 「位置情報取得間隔」で、位置情報を取得する間隔を15秒間～12時間の間で設定できます。

位置情報履歴を出力する

3 「位置情報履歴出力」の[保存] ▶ [OK]

ツール

カテゴリタブから「ツール」をクリックすると表示されます。
現在のソフトウェアの確認や更新、衛星電話ログの保存や送信などの操作ができます。



ソフトウェア

衛星端末やハンドセットの現在のソフトウェアバージョンを確認できます。ソフトウェアの更新もここから行うことができます。→P.109

ソフトウェアの情報を確認する

1 衛星電話管理ツール画面で[ツール]タブ

2 [1. ソフトウェア]メニュー

衛星端末やハンドセットのソフトウェアのバージョンや更新日を確認できます。

衛星電話ログ

衛星電話ログは、ドコモがお客様の問題解決のために使用させていただくものです。お客様のご使用上で問題が生じた場合には、ドコモからログの送信をお願いすることがあります。その場合には以下の順序で操作をお願いします。

1 衛星電話管理ツール画面で[ツール]タブ

2 [2. 衛星電話ログ]メニュー

「(2) 衛星電話ログ表示」欄で衛星端末を使用した時間や使用状況などのログを確認できます。

3 「ログサーバーへ衛星電話ログを送信」にチェックを入れる▶[送信]▶[OK]

衛星電話ログを保存する

衛星電話ログを保存するには、「衛星電話ログ」にチェックを入れる▶[ログ保存]▶[OK]をクリックします。

ステータス

カテゴリタブから「ステータス」をクリックすると表示されます。
電話番号やIMEI、通信利用状況、データ通信量などの確認ができます。



システム

衛星端末に設定されている日付・時刻やIMEI、電話番号、電池状態などの情報を確認できます。

1 衛星電話管理ツール画面で[ステータス]タブ

2 [1. システム]メニュー

各情報を確認できます。

無線情報

GPSやサービス状態、絶対無線周波数チャンネル番号などの無線情報を確認できます。

1 衛星電話管理ツール画面で[ステータス]タブ

2 [2. 無線情報]メニュー

各情報を確認できます。

通信利用状況

接続済みのクライアントやAPN、接続中のハンドセットやスマートフォンなどの情報を確認できます。

1 衛星電話管理ツール画面で[ステータス]タブ

2 [3. 通信利用状況]メニュー

各情報を確認できます。

- **LAN接続済クライアント**：[表示] をクリックすると衛星端末に接続したパソコンなどの機器やハンドセットのMACアドレス、IPアドレスなどの詳細を表示します。
- **接続済Wi-Fiクライアント**：[表示] をクリックするとWi-Fiで接続されている機器のMACアドレスやIPアドレスなどの詳細を表示します。
- **接続済データAPN**：[表示] をクリックするとプロファイル名やユーザー名などの詳細を表示します。
- **接続済ハンドセット数**：接続中のハンドセットの台数を表示します。
- **接続済スマートフォン数**：接続中のスマートフォンなどの機器の台数を表示します。

お知らせ

- LAN接続済クライアントの情報が表示されない（「接続中のサービスはありません」と表示される）場合は、ファイアウォールの設定（→P.105）を行ってください。

データ通信量

データ通信量や音声通話時間を確認できます。

1 衛星電話管理ツール画面で[ステータス]タブ

2 [4. データ通信量]メニュー

各情報を確認できます。

- **データ通信**：積算データ通信量と前回のデータ通信量を表示します。
[クリア] ▶ [OK] をクリックするとデータ通信量をリセットします。
- **音声通話**：積算通話時間と前回の通話時間を表示します。
[クリア] ▶ [OK] をクリックすると通話時間をリセットします。

障害情報

衛星端末やハンドセットなどにエラーが発生した場合に、日時や内容、深刻さの度合を表示します。

1 衛星電話管理ツール画面で[ステータス]タブ

2 [5. 障害情報]メニュー

情報を確認できます。

お知らせ

- エラーコードの詳細とその対応方法については、エラーコード一覧（→P.98）をご確認ください。

システム

カテゴリタブから「システム」をクリックすると表示されます。
設定データのインポート／エクスポートや初期化（リセット）などの操作ができます。



インポート／エクスポート

衛星端末の設定データやSMS受信データなどのインポート／エクスポートが行えます。

データをエクスポートする

- 1 衛星電話管理ツール画面で[システム]タブ
- 2 [1. インポート／エクスポート]メニュー
- 3 [ユーザーデータをエクスポート]
- 4 ユーザーデータ用のパスワードを入力▶確認のため再度パスワードを入力▶[設定]
ユーザーデータはENC形式でエクスポートされます。

データをインポートする

- 1 衛星電話管理ツール画面で[システム]タブ
- 2 [1. インポート／エクスポート]メニュー
- 3 [ファイルを選択]▶インポートするファイルを選択
- 4 [ユーザーデータのインポート]▶[OK]
- 5 エクスポートの際に設定されたパスワードを入力▶[OK]

インポートが完了すると衛星端末が再起動します。

- エクスポートしたデータが異なる場合は、ポップアップが表示されます。問題ない場合は [OK] をクリックしてください。
- ソフトウェアのバージョンが異なる場合は、インポート／エクスポートに失敗することがあります。衛星端末とハンドセットのソフトウェアバージョンを一致させてから実行してください。

お知らせ

- データが正常にエクスポートできていない場合は、正しくインポートできないことがあります。
- 衛星端末が音声通話中の場合は、エクスポートデータをインポートすることはできません。
- 安全なデータ転送のため、データをインポートしている間は衛星端末でデータ通信を行わないようにお願いします。

衛星電話の初期化

衛星端末を工場出荷状態に戻します。

初期化（リセット）はハンドセットの設定メニュー（→P.62）や衛星端末のRESETボタン（→P.62）で行うこともできます。

1 衛星電話管理ツール画面で[システム]タブ

2 [2. 衛星電話の初期化]メニュー

3 [衛星電話の初期化] ▶ [OK]

衛星電話が再起動すると初期化（リセット）が完了します。衛星電話管理ツールを引き続きご利用の場合は再度ログインしてください。

GPSおよびWi-Fiのオン／オフ

衛星端末のGPSとWi-Fiのオン／オフを切り替えます。

GPSをオンにする

GPSをONに設定すると、衛星端末の位置情報を取得します。

1 衛星電話管理ツール画面で[システム]タブ

2 [3. GPSおよびWi-Fiのオン／オフ]メニュー

3 「GPS」の[変更] ▶ をクリックして にする ▶ [保存] ▶ [OK]

Wi-Fiをオンにする

1 衛星電話管理ツール画面で[システム]タブ

2 [3. GPSおよびWi-Fiのオン／オフ]メニュー

3 「Wi-Fi」の[変更] ▶ をクリックして にする ▶ [保存] ▶ [OK]

インターフェース制御

接続している機器のインターフェースを有効にするかどうかを設定します。

1 衛星電話管理ツール画面で[システム]タブ

2 [4. インターフェース制御]メニュー

POTS／FAXを設定する

3 「POTS／FAX」の[変更] ▶ をクリックして にする ▶ [保存] ▶ [OK]

DTE（eth）を設定する

3 「DTE(eth)」の[変更] ▶ をクリックして にする ▶ [保存] ▶ [OK]

「ワイドスターIII」 アプリのご案内

「ワイドスターIII」 アプリについて

お客様のスマートフォンをワイドスターIIIのハンドセットとしてご利用いただける専用アプリをご用意いたしました。本アプリを活用することで、より便利にワイドスターIIIをご利用いただけます。



アプリ概要

本アプリをインストールすることで、お手持ちのスマートフォンをワイドスターIIIのハンドセットとしてご利用いただけます。アプリ内では通話やSMS等の通信機能に加え、データ残量や利用状況等を確認することができます。なお、本アプリはWi-Fi経由でご利用いただけます。

主な機能

- 電話の発着信
- SMS
- 緊急通報
- 衛星端末情報の確認
- データ残量の確認
- 可搬型端末の設置補助

アプリのインストール方法

お手持ちのスマートフォンで以下のQRコードを読み取っていただき、インストールを行ってください。

App Store :



Google Playストア :



※本アプリのダウンロードには別途通信料がかかり、お客さまのご負担となります。衛星通信を利用してダウンロードする場合、一般的なモバイルデータ通信と比較し料金が高額となりますので、ご注意ください。

お知らせ

- 本アプリの詳細な利用方法は、アプリ内トップ画面右上の「」から「ユーザーガイド（ヘルプ）」をご参照ください。
- 衛星端末に同時に接続可能なアプリおよびハンドセットは、双方合わせて5台までです。6台以上のアプリおよびハンドセットを同時に接続することはできません。
- 衛星端末に複数のアプリ、ハンドセットが接続されている場合でも、同時に通話ができるのは1台のみです。
- iOS版アプリはアプリがフォアグラウンドとなっている場合のみ着信を受けることができます。
- Android版アプリはスマートフォンの設定にて、本アプリの「バックグラウンド動作設定」をOFFにしている場合は、バックグラウンド時（スマートフォンがスリープ状態の場合や、アプリが画面に表示されていない場合など）には、音声着信およびSMS受信の通知ができませんのでご注意ください。

ハンドセットから確認／設定できる衛星端末のメニュー一覧

メニュー	設定範囲	初期値	参照先
電話帳	—	—	P.46
SMS	—	—	P.49
履歴一覧	—	—	P.44
設定			
ダイヤルロック設定			
ダイヤルロック	—	—	P.55
ロック時間	Off、30秒、60秒	30秒	
SIMロック			
SIMロック	—	—	P.55
日付時刻設定			
設定方法	自動設定、手動設定	自動設定	P.56
待受画面表示	表示、非表示	表示	
LED設定			
不在着信	On、Off	On	P.56
着信	On、Off	On	
SMS受信	On、Off	On	
モバイルライト	On、Off	On	
画面表示設定			
輝度設定	1～7	5	P.56
バックライト設定	On、Off、15秒	15秒	
スクロール表示設定	1行、3行、1ページ	1行	
カラーテーマ	明るい、暗い	暗い	
キーパッド設定			
キーライト設定	On、Off	On	P.57
エニーキー応答設定	On、Off	Off	
音設定			
着信音量設定	1～7	2	P.57
キー確認音設定	1～7	2	
ノイズキャンセラ設定	On、Off	On	P.45
エコーキャンセラ設定	On、Off	On	P.45
ネットワークサービス			
留守番電話サービス	開始、停止	—	P.58
転送でんわサービス	開始、停止	—	P.59
キャッチホン※1	開始、停止	—	—
発信者番号通知	通知、非通知	—	P.59
番号通知お願いサービス	開始、停止	—	P.59
迷惑電話ストップサービス	—	—	P.60
通話中着信設定	開始、停止	—	P.60
着信通知サービス	全着信、発信番号あり、停止	—	P.60

メニュー		設定範囲	初期値	参照先	
英語ガイダンス	発信時	日本語、英語	—	P.60	
	着信時	日本語、日本語+英語、英語+日本語	—		
遠隔操作		開始、停止	—	P.61	
公共モード		設定する、解除する	—	P.61	
SMS受信拒否		国際SMS国内他事../非通知SMS国際S../SMS拒否設定解除	—	P.61	
プライバシー設定		On、Off	—	P.61	
リセット		設定リセット、電話帳一括削除、全データ一括削除、本体	—	P.62	
電話帳コピー		—	—	P.48	
電話帳表示		表示、非表示	表示	P.48	
GPS設定		On、Off	On*2	P.63	
SMS送達通知		通知する、通知しない	通知する	P.52	
デバイスログ送信		—	—	P.63	
PINコード設定					
暗証番号変更		4～12桁の数字	0000	P.63	
暗証番号入力		On、Off	On		
SMS有効期限設定		0、1、2、3	3	P.53	
SMS引用設定		する、しない	しない	P.53	
SMS自動保存		On、Off	Off	P.53	
通話時間・通信量					
総通話時間		—	—	P.64	
最新通話時間		—	—		
総データ通信量		—	—		
最新データ通信量		—	—		
本体認証コード変更		4～12桁の数字	0000	P.64	
サービス制限					
着信制限		On、Off	On	P.64	
発信制限		On、Off	On		
SMS受信制限		On、Off	On	P.53	
SMS送信制限		On、Off	On		
PINコード変更		4～8桁の数字	0000	P.65	
アナログ電話機設定					
発信者番号表示		TEL	On、Off	Off	P.65

※1 キャッチホンは将来開始予定のサービスとなります。現時点ではご利用になれません。

※2 初期化（リセット）時にソフトウェアバージョンによっては「Off」になる場合がございます。

衛星電話管理ツールのカテゴリタブ／メニュー一覧

○：閲覧／設定可能 △：閲覧可能 －：閲覧不可

✓：ユーザーデータのインポート／エクスポート機能でのバックアップ&リストアに対応

×：ユーザーデータのインポート／エクスポート機能でのバックアップ&リストアに非対応

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	権限※		バックアップ	参照先
			Admin	User		
セットアップ						
SMSアクセスのログイン管理	有効、無効	無効	○	△	✓	P.75
APN設定	mopera U	－	○	－	✓	P.75
IPアドレス設定						
LANポート						
IPv4アドレス	－	192.168.0.1	○	△	✓	P.77
サブネットマスク	－	255.255.255.0				
IPv6アドレス	－	fd5a:5000:0:1:c0c0::1				
サブネットマスク	47～128	64				
開始DHCP IPv4 アドレス	－	192.168.0.50				
終了DHCP IPv4 アドレス	－	192.168.0.60				
開始DHCP IPv6 アドレス	－	fd5a:5000:0:1:c0c0::20				
終了DHCP IPv6 アドレス	－	fd5a:5000:0:1:c0c0::2a				
HSポート						
IPv4アドレス	－	192.168.1.1	○	△	✓	P.77
サブネットマスク	－	255.255.255.0				
IPv6アドレス	－	fd5a:5000:0:2:c0c0::2				
サブネットマスク	47～128	64				
開始DHCP IPv4 アドレス	－	192.168.1.50				
終了DHCP IPv4 アドレス	－	192.168.1.60				
開始DHCP IPv6 アドレス	－	fd5a:5000:0:2:c0c0::20				
終了DHCP IPv6 アドレス	－	fd5a:5000:0:2:c0c0::2a				
Wi-Fi						
IPv4アドレス	－	192.168.2.1	○	△	✓	P.78
サブネットマスク	－	255.255.255.0				
IPv6アドレス	－	fd5a:5000:0:3:c0c0::3				
サブネットマスク	47～128	64				
開始DHCP IPv4 アドレス	－	192.168.2.50				
終了DHCP IPv4 アドレス	－	192.168.2.60				
開始DHCP IPv6 アドレス	－	fd5a:5000:0:3:c0c0::20				
終了DHCP IPv6 アドレス	－	fd5a:5000:0:3:c0c0::2a				
DHCPリース時間						
DHCPリース時間	12～72	12	○	△	✓	P.78

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	権限*		バックアップ	参照先
			Admin	User		
ハンドセット登録						
ハンドセット名	－	－	○	△	✓	P.79
音声発信	有効、無効	有効				
SMS送信	有効、無効	有効				
音声着信	有効、無効	有効				
SMS受信	有効、無効	有効				
SIMカード設定						
ステータス	－	－	○	△	×	P.80
PIN1コード認証の設定	有効、無効	無効	○	－		
PIN1コードの変更	4～8桁の数字	0000				
ファイアウォール設定						
ファイアウォールを有効にする	有効、無効	無効	○	△	✓	P.81
ポート転送設定	－	－	○	△	✓	P.82
MACアドレスフィルタ						
MACアドレスフィルタ設定	無効、許可リスト、拒否リスト	無効	○	△	✓	P.83
アナログ電話機設定						
POTS着信通知						
着信通知の有効／無効	有効、無効	有効	○	△	✓	P.83
着信音設定						
音声ポート	16.6Hz、20Hz	16.6Hz	○	△	✓	P.83
FAXポート	16.6Hz、20Hz	16.6Hz				
オーディオ設定						
エコーキャンセラー	有効、無効	有効	○	○	✓	P.83
ノイズサプレッサー	有効、無効	有効				
通話音量レベル						
通話音量レベル	1～10	7	○	△	✓	P.83
発信者番号表示						
TEL	有効、無効	無効	○	○	✓	P.83
日付と時刻						
時計更新モード	自動、手動	自動	○	△	✓	P.84
日付	－	－				
時刻	－	－				
時刻表示	12時間表示、24時間表示	24時間表示				
データ使用						
データ使用制限	0B～50GB	－	○	△	✓	P.84
データ通信制限通知	有効、無効	無効				
データ通信自動停止	有効、無効	無効				
総データ使用量自動消去	有効、無効	無効				
本体認証コード更新	4～12桁の数字	0000	○	－	×	P.85

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	権限※		バックアップ	参照先
			Admin	User		
サービス						
Wi-Fi						
無線LAN規格	802.11n	802.11n	○	△	✓	P.85
Wi-Fi帯域幅	20 MHz	20 MHz				
チャンネル	自動、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140	自動				
SSID	1～32文字の半角英数字	ssidXXXXXXXX (XXXXXXXXはIMEI※ ¹ の下7桁)				
セキュリティ	None、WPA2	WPA2				
パスワード	8～63文字の半角英数字	passwordXXXXXXXX (XXXXXXXXはIMEI※ ¹ の下7桁)				
SSIDブロードキャスト	有効、無効	有効				
ユーザー管理						
ユーザー名 (Admin)	－	－	△	－	×	P.86
パスワード (Admin)	－	－	○	－	×	
サービス許可 (Admin)	－	－	○	－	✓	
ユーザー名 (User)	－	－	○	△	✓	
パスワード (User)	－	－	○	○	✓	
サービス許可 (User)	－	－	○	－	✓	
位置情報履歴						
位置情報取得設定						
位置情報取得	有効、無効	無効	○	△	✓	P.86
位置情報取得間隔	15秒間、30秒間、1分間、5分間、10分間、15分間、30分間、1時間、2時間、4時間、8時間、12時間	5分間				
位置情報履歴出力	－	－				
ツール						
ソフトウェア	－	－	○	－	×	P.87
衛星電話ログ						
ログ送信：衛星電話ログ	衛星電話ログ保存、ログサーバーへ衛星電話ログを送信	ログサーバーへ衛星電話ログを送信	○	○	×	P.87
衛星電話ログ表示	－	－	△	△	×	
ステータス						
システム	－	－	△	△	×	P.88
無線情報	－	－	△	△	×	P.88
通信利用状況						
LAN接続済クライアント	－	－	△	△	×	P.88
接続済Wi-Fiクライアント						
接続済データAPN	－	－				
接続済ハンドセット数	－	－				
接続済スマートフォン数	－	－				
データ通信量						
データ通信	－	－	△	△	×	P.89
音声通話／FAX	－	－				
障害情報	－	－	△	△	×	P.89

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	権限*		バックアップ	参照先
			Admin	User		
システム						
インポート／エクスポート	－	－	○	－	×	P.90
衛星電話の初期化	－	－	○	－	×	P.91
GPSおよびWi-Fiのオン／オフ						
GPS	有効、無効	有効*2	○	△	✓	P.91
Wi-Fi	有効、無効	有効	○	△	✓	P.91
インターフェース制御						
POTS／FAX	有効、無効	有効	○	－	✓	P.91
DTE (eth)	有効、無効	有効	○	－	×	

※1 IMEIは製品ごとに異なります。衛星電話本体の裏面の銘板シールに表示されている15桁の数字です。

※2 初期化（リセット）時にソフトウェアバージョンによっては「無効」になる場合がございます。

エラーコード一覧

衛星電話管理ツールの「障害情報」(→P.89) またはハンドセットのディスプレイにエラーコードが表示された場合は、以下をご参照ください。

エラーコード	内容	対処方法
300: TA: Azimuth motor fault	衛星端末に接続された追尾アンテナ*の内蔵モーターとの通信が正しくありません。	衛星端末と追尾アンテナ*の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
301: TA: Elevation motor fault	衛星端末に接続された追尾アンテナ*の内蔵モーターとの通信が正しくありません。	衛星端末と追尾アンテナ*の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
302: TA: EEPROM fault CRC error	衛星端末に接続された追尾アンテナ*の内蔵メモリーにCRCエラーを検出しました。	衛星端末と追尾アンテナ*の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
303: TA: GNSS communication or configuration error	衛星端末に接続された追尾アンテナ*の衛星測位システムに異常を検出しました。	衛星端末と追尾アンテナ*の接続が正しいかご確認ください。 接続が正しい場合は、エラーコードをメモいただいた上で、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
304: TA: Micro controller temperature fault	追尾アンテナ*内部で異常な温度を検知したため、通信を停止しました。	追尾アンテナ*は-20℃～60℃の環境でご使用ください。
305: TA: HPA temperature fault	追尾アンテナ*内部で異常な温度を検知したため、通信を停止しています。	追尾アンテナ*は-20℃～60℃の環境でご使用ください。
306: TA: Accelerometer/ Gyroscope sensor area temperature fault	追尾アンテナ*のジャイロスコップで温度異常を検知しました。衛星を追尾する機能が低下している可能性があるため、通信が不安定になることがあります。	追尾アンテナ*は-20℃～60℃の環境でご使用ください。
307: TA: Internal data bus fault	追尾アンテナ*内部において、通信が失敗もしくはタイムアウトしました。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。

エラーコード	内容	対処方法
308: TA: Azimuth zero position reference sensor fault	追尾アンテナ※の方位角のゼロ点センサに異常が発生しました。衛星を追尾する機能の精度が低下している可能性があります。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
309: TA: Board intercommunication fault	追尾アンテナ※内のロジックボードにて異常が発生しているため、追尾アンテナ※の性能が低下している可能性があります。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
200: EA: HPA Over temperature fault	屋外設置アンテナ内部の温度が高温になっているため、一時的に通信を停止しています。	アンテナ内部の温度が下がるまでしばらく待ってからご使用ください。
201: EA: AMB Over temperature fault	屋外設置アンテナ周辺の温度が高すぎる、もしくは低すぎます。	屋外設置アンテナは-20℃～60℃の環境でご利用ください。
202: EA: Supply voltage Critical fault	屋外設置アンテナへの電力供給に異常が発生したことから、安全のため通信を停止しています。	衛星端末の電源を一度切り、アンテナケーブルの接続状況をご確認ください。 確認後も改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
100: MST: AP-CP communication failure	ソフトウェアの動作不具合あるいは状態不一致により、衛星端末を再起動します。	衛星端末が再起動しますので、しばらく待った後に再度利用を開始してください。
101: MST: Any Service Failure	衛星端末本体の一部サービスの起動に失敗しました。	衛星端末の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
102: MST: No cable connection	アンテナの接続を検知できません。	追尾アンテナ※、もしくは屋外設置アンテナが正しく接続されているか確認してください。 アンテナケーブルが正しく接続されているか、断線していないか確認してください。
104: MST: Simple log transfer failed	衛星電話ログの転送に失敗しました。	本エラーが発生したことをドコモ保守者にお伝えください。後続の指示があった場合はそれに従い衛星端末を操作してください。
105: MST: Over current at Active Antenna Port	アンテナの接続で異常を検知しました。	アンテナ、アンテナケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
106: MST: Calibration failed	アンテナケーブルに異常を検知しました。	アンテナ、アンテナケーブルが正しく接続されているかご確認ください。 正しいアンテナケーブルが使用されているかご確認ください。
107: MST: Battery voltage drop detected	電池パックが過放電状態になっている可能性があります。	直ちに使用を中止し、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。

エラーコード	内容	対処方法
108: MST: Battery Temperature error detected	電池パックが過熱しているため充電を一時停止しています。	電池パックの温度が高温になったため、一時的に充電を停止しています。電池パックの温度が低下するまでしばらくお待ちください。 なお、充電以外の衛星端末の動作（通話、データ通信等）には影響ありません。 本エラーが繰り返し表示される場合は、「取り扱い上のご注意」（→P.11）内に記載されている充電時の推奨周辺温度を再度ご確認ください。
109: MST: Battery over charge detected	電池パックの電圧が異常です。	直ちに充電および電池パックの使用を中止し、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
110: MST: Battery failure detected	電池パックが故障しています。	直ちに使用を中止し、法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。
111: MST: Temperature beyond operating range	衛星端末本体の温度が非常に高温になっています。	温度が低下するまでしばらくお待ちください。
112: MST: Invalid charger detected	非対応のACアダプタを検知しました。	衛星端末に対応したACアダプタをお使いください。
113: MST: Short circuit or WS-II connected at EA/TA antenna port	ワイドスターIIアンテナの接続またはアンテナ接続端子の異常を検知しました。	アンテナ接続端子をご確認の上、再度接続してください。また、ワイドスターIIアンテナは本衛星端末にて非対応となります。

※追尾アンテナは可搬型端末には接続できません。

オプション・関連機器のご紹介

衛星端末にさまざまなオプション品（別売）を組み合わせることで、さらに幅広い用途に対応できます。オプション品の詳細については、各製品の取扱説明書などをご覧ください。

- ワイドスターIII 電池/バック
- ワイドスターIII ACアダプタ
- ワイドスターIII ハンドセット
- ワイドスターIII ハンドセット置台
- ワイドスターIII ハンドセットケーブル
- ワイドスターIII 屋外設置アンテナ※
- ワイドスターIII 屋外設置アンテナ接続ケーブル（10M）※
- ワイドスターIII 屋外設置アンテナ接続ケーブル（20M）※

※屋外設置アンテナのポールへの取り付けかた／衛星の電波を受信するための調整のしかたについては、「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ 設置工法書」をご覧ください。

「ワイドスターIII 屋外設置アンテナ 設置工法書」は、ドコモの法人向けホームページのサポートサイトよりダウンロードできます。

<https://support.ntt.com>

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- エラーの内容は衛星電話管理ツールまたはエラーコード一覧で確認することもできます。→P.89、P.98
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P.108
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

衛星端末

■ 衛星端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- 電池切れになっていませんか。
- お買い上げ後、電池パックを一度以上充電して、工場出荷状態を解除してありますか。→P.25
- ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタと衛星端末が正しくセットされていますか。

■ 衛星端末の電源が切れない

- 接続しているハンドセットの電源スイッチは「OFF」になっていますか。
- 衛星端末の電源スイッチは「OFF」になっていますか。
- 上記をお試しいただいた上で5分以上電源が切れない場合は、ACアダプタと電池パックを取り外すことで、電源を強制的に切ることができます。
※強制的に電源を切る操作のため、お客様が登録された情報や設定内容が消失・変化するおそれがあります。
- 上記をお試しいただいた後も解消しない場合は、法人営業担当者にお問い合わせください。

■ 充電ができない（外部電源ランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- ACアダプタと衛星端末が正しくセットされていますか。

■ 使用中・充電中に熱くなる

- 使用中や充電中に、衛星端末や電池パック、ACアダプタの温度が高くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

■ 電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探するため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電をくり返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなってきた場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

■ 電源断・再起動が起きる

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで清掃してください。
- nanoSIMカードのIC部分が汚れていませんか。

■ nanoSIMカードを認識しない

- 使用できるnanoSIMカード以外を挿入していませんか。→P.20
- nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。

■「無効なSIMです。」と表示される

- nanoSIMカードが正しく取り付けられていますか。→P.20
nanoSIMカードが破損していたり、nanoSIMカード内の情報を正常に読み取れないなどの理由により、docomoから発行された正規のnanoSIMカードであることが確認できない場合に表示されます。上記をお試しいただいた後も解消しない場合は、法人営業担当者にお問い合わせください。

■ 圏外ランプが消灯しない

- 衛星端末本体とハンドセットの電源を入れ直してください。→P.32
- 上記をお試しいただいた後も解消しない場合は、GPS設定ONの場合はOFFへ、GPS設定OFFの場合はONへ切り替えたのち（→P.63）再度、衛星端末本体とハンドセットの電源を入れ直してください。

ハンドセット

■ ハンドセットの電源が入らない

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。
- 衛星端末の電源スイッチは「ON」になっていますか。
- 停電からの復旧時などハンドセットの電源が入らない場合は、衛星端末とハンドセットの電源スイッチを「OFF」にした後、衛星端末の電源スイッチを「ON」にし、衛星端末の起動完了後ハンドセットの電源スイッチを「ON」にしてください。

■ 電源断・再起動が起きる

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。

■ 起動中のまま待受画面が表示されない。

- 衛星端末にしっかりと接続されていますか。

■ ダイヤル発信できない

- ダイヤルロックを設定していませんか。
- 発信制限を設定していませんか。
- 終話後、時間を空けてから発信していますか。

■ 着信音が鳴らない

- 着信音量設定を「1」に設定していませんか。
- 着信制限を設定していませんか。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。

■ 通話ができない（例：場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、衛星端末の状態を確認してください。
- 電波の性質により、「圏外ではない」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信制限を設定していませんか。
- 発信制限を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、電話やデータ通信がつながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ ディスプレイが暗い

- 輝度設定を「1」に設定していませんか。

■ 画面表示が消えた

- 電源が切れていませんか。
- 衛星端末の電源が切れていませんか。
- 衛星端末が電池切れになっていませんか。

■ 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 受話音量を変更していませんか。

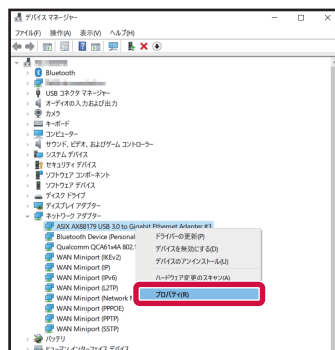
接続

■ パソコンと衛星端末との接続が確認できない

- 無線LAN (Wi-Fi) 機能を利用して同時に接続可能な機器は8台です。
- 有線LAN機能を利用して同時に接続可能な機器は11台です。
- 以下①、②のような状態のときは、パソコンの設定を変更してみてください。
 - ①パソコンから衛星電話端末へのpingが失敗する。
 - ②衛星電話管理ツールのURLに接続できない。

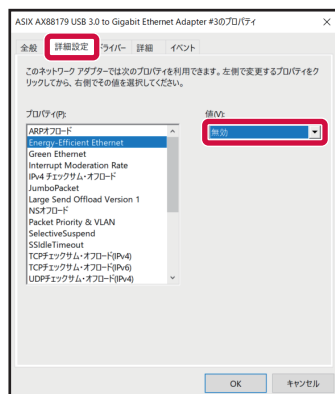
設定の変更方法

1. お使いのパソコンで「デバイス マネージャー」を開き、「ネットワーク アダプター」からイーサネットアダプタを選択し、右クリックして「プロパティ」を選択

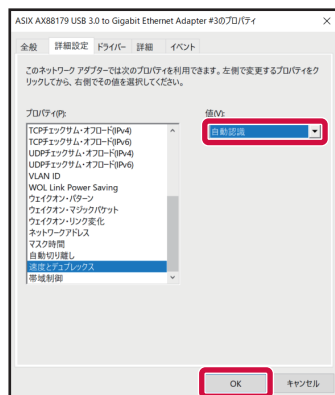


2. 「詳細設定」タブから「Energy-Efficient Ethernet」(省電力イーサネット) を選択し、「無効」(disable) または「オフ」(Off) に設定

- 一部のパソコンでは「Energy-Efficient Ethernet」(省電力イーサネット)が存在しません。その場合は操作3.に進んでください。



3. 「速度とデュプレックス」(speed and duplex) を選択し、「自動認識」(auto negotiation) に設定して「OK」をクリック



※お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

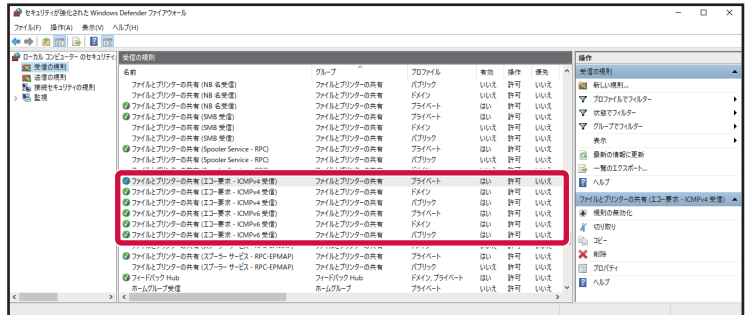
■ ファイアウォール設定について

以下の操作で、ICMPを許可してping応答を可能に設定します。

- お使いのパソコンによっては、表示が異なる場合があります。

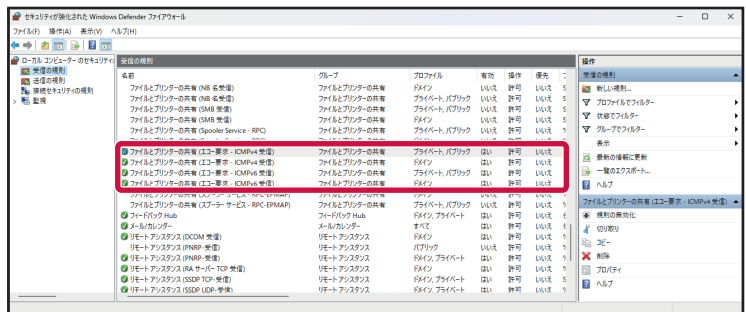
Windows 10をご使用の場合

1. お使いのパソコンで、スタートメニューから「Windows管理ツール」－「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」を開く
2. 左ペインから「受信の規則」をクリックする
3. 「ファイルとプリンターの共有（エコー要求 - ICMPvX 受信）」の各項目を右クリックし、「規則の有効化」をクリックする
 -  が表示された項目は有効になっています。



Windows 11をご使用の場合

1. お使いのパソコンで、スタートボタンを右クリック→「設定」をクリックする
2. 「設定の検索」に「defender」を入力し、検索結果から「Windows Defender ファイアウォール」をクリックする
3. 左ペインから「受信の規則」をクリックする
4. 「ファイルとプリンターの共有（エコー要求 - ICMPvX 受信）」の各項目を右クリックし、「規則の有効化」をクリックする
 -  が表示された項目は有効になっています。



こんな表示が出たら

ハンドセットに表示される主なエラーメッセージです。

■ SIMカードが挿入されていません

- nanoSIMカードの種類や向きに注意して、衛星端末に正しく取り付けてください。→P.20
- 衛星端末のアンテナ面を上げてから、衛星端末の電源を入れ直してください。→P.27

■ 電話帳表示 電話帳は利用できません

- 「電話帳表示」で電話帳を表示しないよう設定されています。設定を変更してください。→P.48

■ 送信BOXがいっぱいです。

- 送信BOXに保存できるSMSの最大件数に達しています。不要な送信済みSMSを削除してください。→P.52
- 保存できる最大件数（100件）以下であっても、長文のメッセージがある場合は、実際の保存数が最大件数よりも少なくなります。

■ 未送信BOXがいっぱいです。メッセージを保存できません。

- 未送信BOXに保存できるSMSの最大件数に達しています。不要な未送信SMSを削除してください。→P.52
- 保存できる最大件数（100件）以下であっても、長文のメッセージがある場合は、実際の保存数が最大件数よりも少なくなります。

■ 空きメモリがありません 古いメッセージを消去してください

- 受信BOXに保存できるSMSの最大件数に達しています。不要な受信済みSMSを削除してください。→P.52
- 保存できる最大件数（100件）以下であっても、長文のメッセージがある場合は、実際の保存数が最大件数よりも少なくなります。

■ 本体認証コードが誤っています 再度入力して下さい

- 正しい本体認証コードを入力してください。→P.34

■ 暗証番号が誤っています 再度入力して下さい

- 正しい暗証番号（ハンドセットPIN）を入力してください。→P.34

■ PINコードが誤っています 再度入力して下さい

- 正しいPINコードを入力してください。→P.34

■ エラーが発生しました

- 現在衛星端末に接続されているハンドセットの台数が、接続可能な台数を上回っていないか確認してください。→P.28
- 大量のデータ通信をしようとすると、電波の混み具合によっては衛星端末の動作に負荷がかかり、ハンドセットと衛星端末間の通信が正常に行われず、この表示が出ることがあります。
 - 受信状況を確認してください。
 - 衛星端末本体とハンドセットの電源を入れ直してください。→P.32それでも改善しない場合は、法人営業担当者にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証について

- 衛星端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 衛星端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 衛星端末およびハンドセットの故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳に登録された内容などが変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付けいたします。

お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

衛星端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細は法人営業担当者もしくは裏表紙の「ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先」にご相談ください。

お願い

- ・衛星端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承知いただいた上で受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- ・以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やボタン部などにシールなどを貼る
 - 接着剤などにより衛星端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- ・衛星端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
 - 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- ・各種機能の設定などの情報は、衛星端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。
 - お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- ・修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスが変更される場合があります。
- ・ハンドセットの下記箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 - 使用箇所：スピーカー、受話口
- ・衛星端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、衛星端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

衛星端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新とは、衛星端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。必ず最新ソフトウェアへの更新をお願いいたします。ソフトウェアの更新の種類としては以下の3つがあります。

- ・衛星端末
- ・ハンドセット
- ・屋外設置アンテナ

これらの衛星端末とオプション品のバージョンアップファイルの組み合わせはあらかじめ決められています。指定したバージョン以外の組み合わせでのご利用は動作保証外となります。

これらの更新は、お客様ご自身の責任において実施していただく必要があります。

衛星端末に提供されている具体的なソフトウェア更新の内容およびバージョンの組み合わせ、期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ソフトウェア更新を行う

衛星端末のソフトウェア更新は、衛星端末に接続したパソコンなどから、衛星電話管理ツールを利用して行います。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新は必ずACアダプタ（別売）に接続した上、電池バックも取り付けてから行ってください。

1 衛星電話管理ツール画面で[ツール]タブ

2 [1. ソフトウェア]メニュー

3 [ファイルの選択] ▶ ソフトウェアの更新用ファイルを選択



ファイルを選択する画面が表示されますので、ソフトウェア更新ファイルを選択してください。選択が終わると、以下のように選択したファイル名が一部表示されます。

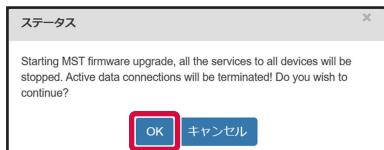


4 [ソフトウェア更新]

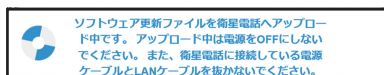


以下の画面が表示されます。[OK] をクリックするとデータ通信が切断され、ソフトウェア更新が開始されます。

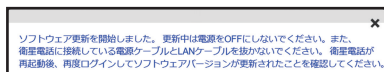
- ソフトウェア更新中は音声発信やSMSなどのサービスができなくなりますのでご注意ください。



上記の画面で [OK] をクリックすると以下の画面が表示され、衛星端末へのソフトウェア更新用ファイルのアップロードが開始されます。



アップロードが完了し、ソフトウェアの更新が始まると以下の画面が表示されます。



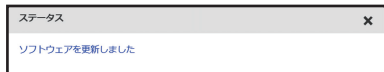
ソフトウェア更新中はLEDパネル全体が点滅します。ソフトウェア更新が完了すると衛星端末本体の再起動が開始され、衛星電話管理ツールの接続が切断されます。

再起動が完了した後、衛星電話管理ツールにアクセスすると以下の画面が表示されます。

- 衛星電話管理ツールにアクセスしているブラウザ等を閉じた場合は、以下の画面が表示されない場合があります。



この後、衛星電話管理ツールにログインすると、以下の画面が表示されます。



衛星電話管理ツール画面で「ツール」タブをクリックし、ソフトウェアが更新されていることをご確認ください。



■ 注意事項

- ソフトウェア更新完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- 通話中はソフトウェアの更新はできません。ソフトウェア更新には再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべて機能をご利用いただけません。
- ハンドセットに保存されているSMSや電話帳のデータは、ソフトウェアの更新後も保持されます。
- ソフトウェア更新は、衛星端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。
- ハンドセットのソフトウェア更新を実施するためには、衛星端末本体のソフトウェアバージョンがJupiter-MSE-MST.4.1132.E以降である必要があります。ハンドセットの更新の前に、必ず衛星端末本体をJupiter-MSE-MST.4.1132.E以降のバージョンに更新してください。
- ハンドセットのソフトウェアを更新中にハンドセットが再起動しますが、その後衛星端末本体も再起動を伴うためハンドセットが合計2回再起動します。ソフトウェア更新後のハンドセットの操作は衛星端末本体が再起動した後に行ってください。
- ソフトウェアの更新ができない場合は、以下の状況になっていないかを確認してください。ソフトウェア更新の妨げになっている可能性があります。
 - 通話中
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - ACアダプタ（別売）が本体に接続されていないとき
- ソフトウェア更新中は電源を切ったり、ACアダプタやLANケーブル、電池パックを取り外したり取り付けたりしないでください。
- サポート期間中にソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
- サポート期間終了後にソフトウェア更新が配信される場合がございますが、ソフトウェア更新についてはお客さまの責任において実施してください。
- ソフトウェアの更新が正しく行われなかったり、ソフトウェアが正しく動作しなくなったり、重要なデータが消失する可能性があります。安全かつ快適な利用のため、ITに精通した方のアドバイスや指導のもと、正しい手順での実施をお願いいたします。

- ・ソフトウェア更新を実施した際、本体LEDの点滅状態が継続し「ソフトウェアを更新しました」のメッセージ表示を確認できなかった場合、更新に失敗している可能性があります。衛星端末の初期化（リセット）を実施してください。→P.62
- ・ソフトウェア更新にかかる時間は、概ね以下となります。
 - 衛星端末：25分程度
 - ハンドセット：15分程度
 - 屋外設置アンテナ：20分程度

主な仕様

■ 本体

品名	ワイドスターIII 可搬型端末
サイズ	縦約198mm×横約178mm×厚さ約49mm
質量	約1.2kg（電池パック装着時）
充電時間	ACアダプタ：約150分
防水／防塵等級	IP44

■ インターフェース

外部アンテナ接続端子	SMB型ジャック
電源端子	USB Type-C
LAN端子	RJ-45
ハンドセット接続端子	RJ-45
電話機／FAX接続端子	RJ-11

■ 電池パック

品名	ワイドスターIII 電池パック
サイズ	縦約85mm×横約78mm×厚さ約23mm
質量	約230g
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	14.4V
公称容量	3400mAh以上

■ ハンドセット

品名		ワイドスターⅢ ハンドセット	
サイズ		縦約165mm×横約62mm×厚さ約27mm	
質量		約186g	
液晶部※1	種類	TFT	
	サイズ	約2.2インチ	
	ドット数	240×320	

※1 気温などの使用環境により、液晶部が見えにくくなる場合があります。

■ ACアダプタ

品名	ワイドスターIII ACアダプタ
入力	AC 100V～240V 1.6A
出力	DC 5V～20V 3A～3.25A
サイズ	幅約50mm×高さ約51mm×厚さ約29mm ケーブル長さ 約1.5m
質量	約115g（ケーブルタイを除く）

輸出管理規制

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権について

著作権

- お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

商標

- 「ワイドスター」、「mopera U」、「WORLD CALL」は、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome、Google Playは、Google LLCの商標または登録商標です。
- Safariは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。TM and ® 2024 Apple Inc. All rights reserved.
- iOSは、Apple Inc.のOS名称です。IOSは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi[®]は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索引

あ

アナログ電話機設定	65、83
アフターサービス	107
暗証番号	34
安全上のご注意	4
アンテナ面	27
位置情報履歴	86
インポート／エクスポート	90
英語ガイド	60
衛星電話管理ツール	
画面の見かた	74
ログイン	73
衛星電話ログ	87
エコーキャンセラ	45
エニーキー	57
エラーコード一覧	98
遠隔操作	61
屋外設置アンテナ	30
音設定	57
オプション	101

か

各部の名称	15
画面表示設定	56
カラーテーマ	56
関連機器	101
キー確認音	57
キーボード設定	57
キーライト	57
緊急通報	41
公共モード	61
輝度設定	56
国際電話	42
故障かな？と思ったら	102
こんな表示が出たら	106

さ

サービス	85
サービス制限	64
システム	88、90
自分の電話番号	36
充電	25
充電時間	25
障害情報	89
商標	112
初期化（リセット）	62、91
スクロール表示	56
ステータス	88
ステータスバー	19
設定メニュー	54
セットアップ	75
ソフトウェア	87
ソフトウェア更新	108

た

ダイヤルロック	55
---------	----

知的財産権	112
着信音量	57
着信通知サービス	60
着信履歴	44
著作権	112
通信利用状況	88
ツール	87
通話時間・通信量	64
通話中着信設定	60
通話中保留	43
データ使用	84
データ通信	70
データ通信量	89
デバイスログ送信	63
電源を入れる	32
電源を切る	33
転送でんわサービス	59
電池パック	
取り付け／取り外し	23
電話機／FAXとの接続	66
電話帳	46
電話帳コピー	
インポート／エクスポート	48
電話帳登録	46
電話帳のグループ登録	47
電話帳表示	48
電話帳編集	47
電話を受ける	43
電話をかける	39

な

ネットワークサービス	58
ノイズキャンセラ	45

は

パソコンとの接続	68
バックライト	56
発信者番号通知	59
発信履歴	44
番号通知お願いサービス	59
ハンドセット	
取り付け／取り外し	28
ハンドセットPIN	34
ハンドセット置台	
置く	29
取り外す	30
ハンドセット登録	79
日付時刻設定	56
日付と時刻	84
ファイアウォール設定	81
ブッシュ信号	40
プライバシー設定	61
ポート転送	82
保証	107
本体認証コード	34、64
本体認証コード更新	85
本体付属品	1

ま

待受画面	19
無線LAN（Wi-Fi）接続	67
無線情報	88
迷惑電話ストップサービス	
文字入力	60
画面の見かた	37
入力する	38

や

ユーザー管理	86
輸出管理規制	112

ら

留守番電話サービス	45、58
ログイン管理	75

わ

ワイドスターIII アプリ	92
---------------	----

英字

ACアダプタ	26
APN接続	72
APN設定	75
GPS	63、91
IPアドレス	77
LED設定	56
LEDパネル	15
LEDランプ	18
MACアドレスフィルタ	83
nanoSIMカード	
取り付け／取り外し	20
PINコード	
設定	63
変更	65
SIMカード設定	80
SIMロック	55
SMS	
引用	53
再送	52
削除	52
自動保存	53
受信	50
受信拒否	53、61
制限	53
送信	49
送達通知	52
表示	51
返信	52
保護／保護解除	53
有効期限	53
Wi-Fi	85
WORLD CALL	42

マナーもいっしょに携帯しましょう

衛星電話を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に衛星電話の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で衛星電話を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で衛星電話を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

歩きながらの使用はやめましょう

■ 衛星電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ 衛星電話を使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

ワイドスターサービスに関するお問い合わせ先 (ドコモ ワイドスターコールセンター)

 **0120-616-360**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

※海外からはご利用になれません。

受付時間 平日 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

土日祝日 午前9:00～午後5:00 (年中無休)

(年末年始：12/29～1/3は、土日祝日扱いとなります)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、法人営業担当者へお問い合わせください。
- 利用中断、再開、ネットワーク故障に関するお問い合わせは上記時間外も受け付けいたします。
- 記載の受付時間について、変更になる場合がございます。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



**キケン！
水ぬれ充電**



**あぶない！
電池への衝撃**



Li-ion 20



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話(本体・充電器・PHS)の回収

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を
問わず回収をしていますので、お近くのドコモ
ショップへお持ちください。

※ 回収対象：衛星端末、携帯電話、PHS、電池パッ
ク、充電器、卓上ホルダ (自社・他社製品を問わ
ず回収)

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 Lockheed Martin Global, Inc.